

復刊第二號

出

日本選手權特集

N.S.R.

機關雜誌

水泳

日本水泳連盟

No.85

F. I. N. A. 復歸承認正式文書

日本水泳連盟は本年六月十五日付をもつて國際水泳連盟復歸を認められた。以下は F. I. N. A. の名譽書記長リッター氏から田畑會長あて正式に復歸の旨をつたえてきた手紙である。

一九四九年六月十四日

日本水泳連盟會長 田 畑 政 治 殿

貴連盟の F. I. N. A. 復歸を要請せられた五月二十日付貴殿の書簡に對し本日私は F. I. N. A. 理事會が貴連盟の復歸を承認した旨打電しました、日本水泳連盟は一九四九年六月十五日付で再び F. I. N. A. の加盟團體となつたわけであり、この日およびこの日以降貴國の選手がつくる世界記録は正規の手續きで小生に提出 F. I. N. A. の承認を求めることが出来ます、たゞ一九四九年六月十五日以前の記録はその間貴連盟が加盟團體でないため考慮されません。

登録の必要上英文の貴連盟規約を小生あて郵送して下さい、また英國にいる名譽會計 H. E. フアーン氏に一九四九年度加盟金として英貨十ポンドを送付ねがいます、貴連盟は一九四九年一月の F. I. N. A. 公報第九號により A 群の加盟團體となります。(譯者=註参照)本日普通便でこの最新の F. I. N. A. 公報と世界記録申請の用紙數葉を送ります。

私は六月二十一日から十月五日迄アメリカを留守にします、この間通信や記録のことは一切フランスのドリニー氏氣付小生あて送つて下さい、そうすれば一九四九年九月五日イタリーのミランで開かれる F. I. N. A. の理事會に提出出来ます。

F. I. N. A. 理事會は貴連盟が水泳競技の普及發展と國際水泳連盟の目的助長のため心から協力されることを希望します。

名譽書記長 リ ッ タ ー

註 今度 F. I. N. A. は加盟國をその F. I. N. A. を支持する能力に應じ ABC の三つのグループに分け加盟金も十 (A) 八 (B) 六 (C) ポンドとした。日本は A のグループに入れられたわけである。

目 次

F. I. N. A. 復歸承認正式文書	1	第14回三大學對抗水上競技大會記録	31
國際水泳連盟復歸に際して	藤田 2	今年の國體は横濱で	白山 32
座談會 日本選手權大會を語る	3	プ ール 行 脚 (1)	深谷 32
日本選手權水上競技大會うらおもて	島田 16	春季合宿練習報告	小池 33
日本選手權水上競技大會記録	18	春季關東水球リーグ戦を顧みて	時任 34
同 水球競技評	大原 24	平泳の蛙脚と肩脚	白山 37
定例代議員會議事録	26	F. I. N. A. 發表世界最高記録表	38
第21回早應對抗水上競技大會	根上 27	海外ニュース	40
同 記 録	29	オリムピック詳報續	41
第14回三大學對抗水上競技大會	松澤 29	オリムピック成績	42
		各地水上競技大會成績	44

國際水泳連盟復歸に際して

水泳連盟事務理事 藤 田 明

六月十六日國際水泳連盟 (FINA) 名譽主事リッター氏から田畑會長宛に寄せられた電文は「國際水泳連盟理事會は日本水泳連盟の復歸を承認した」との極く短かいものであつたが、近頃これ程我々水泳關係者を驚喜感激せしめたものはない。●六月一日附の同氏からの書翰に「日本水泳連盟の復歸申込書を受理した。自分は貴連盟に對する喜ばしい御報せが出来る事を切望して居る」旨したためられてあり、近い將來待望の朗報に接しえられることは充分期待されていたものゝ、このように早く手配され、しかも即刻連絡されようとは想像も及ばなかつたので、正に驚きと歡びは相半ばする有様であつた。

もとより FINA への復歸手續は今回が始めてではない。終戦後日本水泳界の再起と同時に、親交淺からぬアメリカの舊友キツパス氏等を通して當方の熱意を傳へ、さらにロンドンオリンピック大會を前にして、關係當局の了解を含んだ正式の申込書を送つたが、四圍の情勢はにわかには好轉せず、そのまゝ最近に至つたのである。

ところが本年四月、幾多の経緯ののち永井松三氏がローマに於ける IOC 總會に出席されるに及び、力強い世論でありスポーツ界の總意でもある IOC の復歸、引いてはオリンピック競技参加の希望が表明せられ、エドストローム會長やアメリカ IOC 委員ブランデー氏等の強力な支持と好意ある取計いに依つて、IOC 實行委員會を動かすに至つた。會議の最終日書記長オット・メーヤー氏は、日本 NOC の復歸には直接觸れることなく「IOC 實行委員會は各國際競技團體 (スポーツ・フェデレーション) に日本の復歸を勧告した」旨の聲明を發したので、同問題は形式的には一應來年のコペンハーゲンの IOC 總會まで持ち越される結果となつたが、此の勧告によつてオリンピック参加への具體的段取が示されたのであり、實質上参加問題は大成功裡に解決したと見る可きであらう。

本連盟は此の好意的聲明に即應して、三度 FINA 復歸の申込書を送り、特に今夏ハワイから選手を招待されている現状を書き添へて、國際競技實現のため一日も早く審議を進められん事を望み、出来れば

持廻り理事會の特別措置を講じられたい意向を明らかにした。然かも FINA の中心人物であるリッター氏の格別の配慮は、九月ミラノで開かれる理事會を待たず直ちに理事國の郵便投票という方式を採る事を敢てし、其の上結果が當方の希望通り實現されたのであるから、この歡喜は何物にも替へ難く、我々の感謝はいつくすべを知らないのである。

我々水泳關係者にとつて戦後最大の要望であつた FINA 復歸への實現のため、好意と協力を惜しまれなかつた上述のリッター氏、キツパス氏、ブランデー氏、エドストローム氏を始め、AAU 名譽主事フェリス氏、同水泳委員長ジョンソン氏、更には IOC 實行委員等の方々に深甚の敬意と謝意を呈すると共に、老軀を提げて單身ローマ IOC 會議に出席せられ、スポーツ・フェデレーション復歸、オリンピック参加への道を切り開けた永井松三氏の御努力に對し、滿腔の感謝を捧げずにはいられない。尙此の際永井氏の渡歐に關し種々盡力せられたハワイの吉岡・米谷の諸氏や、斡旋の勞を惜しまれなかつた松本龍藏氏に對し、併せて心からなる御禮の言葉を申し上げる次第である。

今回の FINA 復歸に際して各方面から寄せられた數多くの慶祝や激勵の辭は、其の都度我々連盟當事者の感激を新たにしているが、日本水泳連盟の實力——古橋・橋爪等の世界的記録を以つて象徴される實力が、我國競技團體の先頭を切つて復歸の實現を早からしめたとの一般的觀測に溺れることなく、あくまでも謙虚な態度を持し、此の轉機に善處する深い反省と、將來への洞察を誤まらぬことが望ましい。同時に、強化や普及に關し到達した結論に對しては、限りない闘志と逞しい實行力を以て、あらゆる苦難を克服し、眞に國際競技場裡に進出するに恥じない實力を涵養すると共に、エチケツトやプール・マナーの點に於ても缺けることのない立派なスポーツマンシップを身につけなければならない。これこそ好意を寄せられた上記の人達や、廿數年來影になり日向になつて本連盟の成長に力を藉された多くの支持者に答へる唯一の道である事を、私は深く信じて疑はない。

戦後の各界各層が擧げて混亂と虚脱のうちに低迷していた時、逸早く起ち上つたのはスポーツの世界であつた。水泳界も其の例に洩れることなく、むしろ先頭を切つて再起し、しかも一歩々々着實に地歩を固めて、古橋・橋爪等の飛躍を促進したばかりでなく、全般の水準を引上げる成果を擧げたことは今更ことあたらしくいうまでもあるまい。併し乍らこれを昭和六七年頃から始まつた約十ヶ年に及ぶ水泳日本の全盛期に比べると、長距離を除く他の種目や女子、飛込、水球等の各競技部門は、總て最高水準には程遠いものがある。次期オリンピックに臨む態度として、男子競泳を重點的に取り扱うにしても、特殊種目はもとより、自由形でも短距離は、決して満足すべき状態にはない。これ等比較的不振な種目については、一段と強化施策を講じて質の向上を圖ると共に、これに肉をつけ血を増して眞に力強い布陣を形成するには、後継者を生む基盤としての量的擴充が不可欠であつて、水泳人口増加の問題が大きくクローズアップされてくるのは、當然の歸結であらう。未弘前會長の「ピラミッドの頂點をより高くし安定性を保たしめるためには、底邊を広げること以外にはない」との表現も、田畑會長の「富士山が

あの高さを誇るのは、渺茫限りない裾野の廣さがあればこそである」との比喩も、要約すれば質と量との相關關係を明らかにされたものであり、これを水泳に當てはめれば、水泳日本が世界の最高峰を極めしかも堅持して他に譲らないためには、水泳人口を増加して數量の點に於ても世界に冠たることを要望されて居るに外ならない。これは取りも直さず本連盟の最高方針であり、同時に水泳人の均しく肝に銘ずべき金科玉條であると思う。

かつての日米對抗競技の敗將となつたキツパス監督は日本水連の組織を此の上もないものとして羨望の嘆聲を放ち、勝敗の歸趨はむしろ競技場裡にあるのではなく、彼我の水泳普及度と動員力の多寡にある點を喝破していた事を想起し、ここに改めて水泳關係者全員が水泳人口増加のため更に精進を續けられん事を熱望せずにはおられない。日本水泳連盟が、加盟團體の總力を結集し、名實共に F.I.N.A の有力メンバーたる實力を備へることこそ、取りも直さず今回示された各方面からの厚情に酬いる所以である事を確信し、重ねて大方の御協力を仰ぎつゝ、拙稿を終ることとする。

座 談 會

日本選手權大會を語る

七月二十一日から四日間東伏見と神宮プールで行われた昭和二十四年度日本選手權水上競技大會の成果について田畑會長以下、コーチングスタッフの方々に集つてもらい八月二日村山選手以下渡米選手の合宿している福田屋旅館で座談會を開いた、出席者次の通り

(敬稱順序略)

會 長	田 畑 政 治		
専務理事	藤 田 明	松 澤 一 鶴(司會)	
會計理事	原 秀 夫	小 池 禮 三	
	葉 室 鐵 夫	遊 佐 正 憲	
	牧 野 正 藏	根 上 博	
	河 津 憲 太 郎		
編 集 側	辻 富 士 夫	伊 藤 謹 平	

水泳座談會

一天皇皇后兩陛下の御激勵

松澤 今年の選手權大會も水泳陣の希望を本當に完成したのとして實に愉快的、うれしい結果に終つたことは御同慶にたえません、今日はここで皆さん方に總評をお願いしたいと思います。選手權大會の時期が繰上げになつた、その原因は私たちの待望の國際水泳連盟復歸の問題がにわか決まり代表選手が渡米することになつたからですが、われわれ期待していたこととはいいながら非常に早く實現せられて、その結果が今年度の選手權のすべての基調になつていると思うのです、また天皇陛下の行幸を仰いで、しかも自らの御發意で選手を御激勵下さつた

ということ、われわれも大いに感激したのですがそばでその御動靜を見ておられた方々から、水泳に關するお話があつたかどうか、田畑さんから一つ。

田畑 非常に御熱心で、ことにレースの接戦みたいな時には手をたたいておられました、それから下にお下りになつて七人の選手に會われて、確りやれという御激勵がありました、だから單なる儀禮的なことでなく非常に今後のアメリカに行つてからの奮闘を期待されているようです。

松澤 ぼくも列の端に列つていましたが、水泳日本のために確りやつてくれというお言葉がありました、これにすべての問題が盡きるのではないかと思います。

藤田 そうですね、先輩が築いた水泳日本の名譽のためにという意味で、ここにおられる先覺者の人もその名譽の一環に列つたといえるのではないかと思います。

一千五百の古橋・橋爪

松澤 この氣持で本年度は進んで行つたらどうかと思います、日本の新しい陣容を整えたという劃期的な選手權大會を終つて、少し技術的な回顧をやつてもらいたいと思います、相常論議されたことだが非常に接戦した千五百メートルの決勝から一つ。

牧野 前にもちよつとお話したのですが、大體古橋も橋爪も練習よりレースでいいタイムを出すという自信をもつていたようです、ところが大會前の濱松の合宿で二人とも非常に調子がよくて大體 18 分



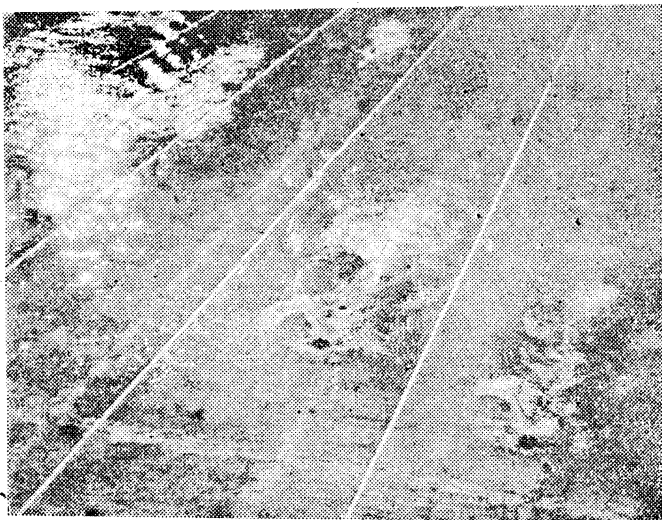
渡米選手に選ばれた六君 = 左から古橋、濱口、橋爪、村山、田中、丸山の諸選手

50 秒前後で泳いだような話を聞きましたし、本人たちもそれでレースに行けば昨年よりいい記録が出るというような考えをもつていたように思います。そういう關係で始めから二人が並んでいて、古橋にしてみれば橋爪に前半ついて行つて後半ガン張ればいい記録が出るという頭があつたし、橋爪にしても古橋について行けば必ず去年の記録より上回る記録が出るというような頭があつたのではないかと思います、そういう關係で前半にセーブし過ぎたというか、けん制というか、上つたような氣持でいつたのではないかと思います、泳ぎとしては別にこれという缺點もないが、橋爪君は去年に較べて少し手の入れ方が細くなつたような感じを受けます。結果においてはわれわれの期待していたような記録は出なかつたが、全日本が終り、今合宿を見ていると二人とも非常に元氣があり特に橋爪君のフォームはここ二、三日、去年の絶頂の時のフォームに戻つています。このままで進んで行けば必ず向うに行つても思

う存分活躍出来ることと思つています。

松澤 古橋君の病氣のハレ物は……

牧野 あれは全然なおつています。



1500米自由形—240米附近 右古橋、左橋爪

小池 18分58秒8というのはだれが見ても古橋の實力があれで精一ぱいということは感じなかつたと思うね。

藤田 特に第一日の東伏見ではよかつたからね。

小池 あの時の調子だけで45秒ぐらひは簡単に出てくる感じだつたが……

根上 千五百はコースを離すようにやつたらどんなものだろうか。

遊佐 その必要はないと思うね。

牧野 並んでもいいが、どうしても二人とも同じ學校でいつも練習しているから、そういう関係で、悪くいえば両方とも相手方に頼り過ぎたのではないかという感じがした、單獨で泳いでおればもつといい記録が出ていたのではないかと思うね。

遊佐 ぼくは古橋は四百についての自分のペースは比較的分つていると思います。千五百は四百さえガン張つて相常の記録を出していれば、橋爪に續いていつて簡単に抜けるという自信があつた、ところが反對に橋爪は四百より千五百に主力をおこそうとする、そして去年のレースがあるから古橋について行こうとする、やはりこわいのですね、古橋よりぐつと吹飛んで行くということが……、そういつたことが今牧野君がいつたように原因してどちらもなかなか出られないという……

藤田 ペースを知らぬということは古橋、橋爪はもとより、田中とかその他の若い連中もだれも知らぬと思う。田中でも下馬評には川口の方がよかつた。

田中は負けてももともとなんだから始めから吹飛ばせということで田中はせい一ぱい泳いで入選した、練習よりも20秒も飛躍している、躍進途上にあるものは練習すればまだまだ伸びると思います。

遊佐 ペースがまだ分らないだけ非常に期待出来るものがあるね、古橋はじめみな……

小池 橋爪は古橋に勝つてやろうと始めから吹飛ばせば去年と同じぐらひやれたと思う。

松澤 ちよつとそれが物足りなかつたですね、古橋の負けることは望まぬけれども、今度泳いでいて橋爪はこれは變だという感じをなぜもたなかつたかということがむしろおかしいので、古橋の病氣をクネにしては悪いが、實際試合に橋爪が勝つていたら今後橋爪としては色々な場合にやり易くなるのではないかということの結果において感じていたが、しかしレースをみても、途中でもう少し吹飛ばせば勝てるという氣をなぜ起さなかつたかと思ひますね。

葉室 ゴールについた時の疲れ方も去年程でなし……去年は流石に使い切つたという感じがしたが……

小池 途中で小細工を弄しているみたいに、落付かない試合みたいな感じがしたが、ラップをみても七百、八百は1分17秒ぐらひかゝつている。

河津 17秒、18秒だろ最後は古橋が1分8秒ぐらひにでなかつたかな……

辻 12秒臺だよ。

牧野 ラップが上下するというのは練習中のあのくせ——途中ゆつくり泳いでみたりガン張つてみたりするあのくせが出たのではないかと思います、だからぼくはもつと一生懸命に練習したらもつと躍進すると話したのですが、練習によつてはまだまだ上る可能性がありますよ。

—頼もしい新人の進出—

松澤 二人の批評は色々まだあるだろうが、千五百で落選したが明善高の田中とか、また六着になつた伊東高の川口君とか、とにかく若い連中が伸びて來たことは相常心強さを覺えるね。

遊佐 われわれの中學時代、やはりまず長距離から伸びて來た、例えば北村、牧野、横山、それと期を同じくして宮崎、結局長距離から強くなつて短距離に行く、今その経過をたどりつつあるような氣がして仕方がないが……

小池 もう一年もすればその中から短距離にむくいいのが出てくるね。

遊佐 ブレストも出てくるような気がするが。

—四百米の古橋—

松澤 第二線選手が確りして来たということは今度のレースで感ぜられると思いますね、次に四百メートル自由型でまず古橋橋爪二人を中心にしてこの感想を……これは千五百の失敗を補つて餘りある成績だと思えますが

根上 とにかくぼくらからみて古橋のペースは素晴らしいと思いますね、二百から三百、あの邊の早いこと、ラストも相常早いし……あとはもつと前半がうまく飛べたらもつといい記録が出るのではないかという気がするが、もし外國の選手であれに一しよにくつついて行けるのがいてもあれぐらい早いペースだから恐らく二百ぐらいで振り切つてしまえるのではないかと思います。

藤田 二百から三百までで振り切れるね、二百、三百がとても強い。

牧野 前半が遅いというのは古橋は後半に強いという自信をもっている、そういう関係で前半でセーブして後半でガン張つたらいい記録が出るという頭をもっているのではないかと思う、そういう関係で前半の飛出しがある程度、一般の人に較べては早い本人にしては遅い。

遊佐 古橋にしてみれば四百の間の力の配分を考えてやっているのだといいと思うが、古橋はこの前ちよつともらしたが、前半ガン張つて4分35秒で泳ぐよりも前半は落して後半でガン張つて4分35秒で泳ぐ方が楽だという、記録的には同じだが、楽だから前半を落して後半にガン張るといふのだつたら困ると思います。苦しいからとか、楽だからとかいうのでなく、力の配分を研究する意味においてやるのだつたら賛成だが……恐らく古橋にしては力の配分ということを考えてのことではないかと思うが、だから前半を去年の前半ぐらいで飛んで、しかも後半は今年の後半で泳ぐということになれば完璧なものになるが、今はその過程にあるのだと思います。

牧野 その時こそ30秒は出るね。

小池 ぼくも完全なペースというものは始め飛び出すペースの方が完全なペースだと思いますね、始めゆつくり泳いであとからガン張るといふ記録は、始め飛び出していい記録が出た時に較べたらかな

ぬと思います、だから完全なペースは始めから飛び出すのにあると思います。これも程度問題ですけれども……始めゆつくりやつていけばラストはガン張れる、しかし始め1秒早く入つていて、最後同じに1分9秒で入れたら1秒得していることになる、やはり何といても飛び出し主義でなければ損だと思えます。

遊佐 苦しいけれどね。

河津 それと四百まではある程度スピードが必要だと思えますね。

遊佐 泳ぎにはすべて必要ですよ。

河津 東伏見から歸る時古橋と一しよに色々話したが、古橋がいうのには千五百か四百に重点をおくか分らないが、アメリカに行つたら四百に重点をおいてやる、オールジャパンが終つたらスプリントをつけたいといつていたが。

松澤 スプリントの問題はこの前もやつたが、ペースの問題は、去年古橋が泳いだ結果をペースという観点から見て議論したが結局今年になつてみると古橋は去年あたりはペースが出来ていなかったと思います、苦しかつたという……結局は始め無茶苦茶に飛んであと引張つていつた。結局ペースも何も考えてないでガン張りで仕上げたものが、今年あたりはペースのことも考えに入れて来た。この次に前半が飛ぶ段階になつたら完成の時期でないかと思えますが、今年古橋に學んでは困るが、最初の間を去年のようなガン張りというか、要領よくスルスルと出る最初の出だし方が彼の身についたらちよつとしばらく天下無敵ですね。

小池 古橋は水の中に飛込んでもすぐ水に乗らないのですねしばらく泳がないと。

松澤 スタートのあとのすべり出し、經濟的なすべり出しということを感じないと、そういうこまかい技術を身につけていないのではないかと思うね。

小池 ターニングの出足なんかも……

—四百の橋爪その他—

松澤 今の四百の橋爪の感想は……

根上 二百ぐらいまでは古橋より先に行つていたが、あの調子で行けばもつと出るのではないかと思うが。

原 四百の橋爪は非常に積極戦法だつたね。

松澤 レースとしても面白いレースだつたね。

小池 彼は古橋と始終泳いでいるが、氣樂さがあ

るからいくらでも飛ばせる……

遊佐 負けてもいい、一應どれだけ出るか飛んでみようという気がありありと見えて……

根上 あれぐらいの力があればもう少し行けそうなものだと思つたが、……

松澤 これも長距離の人が備うべきスプリントの問題だが……

根上 ふだん二百あたりの相当強いところをやつてないのではないかと思うが、もう少し二百とか、そこらのいゝ記録をねらつて練習におり込んで行けばあれぐらいに千五百が泳げるのだつたら相当いい記録が出ると思いますね。

小池 今日村上君に聞いたら、相当ガン張つて百とか百五十とかをやつたあとは全部に勝手に自由練習をさせておくだけだという。

根上 四百のためのスプリントだつたら二百をやる必要がありますね。

松澤 二百を中心に、二百から三百に伸ばして行く練習がかなり四百には必要でないかと思つたね。

遊佐 現在日大ではそれをやつているよ。

—ヴェテラン村山の活躍—

松澤 村山は……

牧野 私二日ばかり大會前の合宿に行つたが、その時は神経痛とかでぶらぶらしか泳いでいずことによつたら本人は全日本を棄権するといつていたが、どうせ最後だから一か八かやってみるといふので二百の記録をとらせたが 16 秒 4 か何かで泳いだ、それで本人がその氣になつたら行けるという頭で翌日二百をとつてみたら 14 秒で行つた、それで本人がこれなら行けるという自信をもつて泳ぎ出した、私が行つた二日間で自信をつけたというか、氣をよくして非常な野心をもつた、そういう結果が全日本に現われて来たのではないかと思います。

松澤 泳ぎもよかつたし、最後の追込みは見事なものだつたし……

牧野 結局追込みが強いというのは長距離を泳いだせいもあり練習もしている。だから今でも八百、千五百は泳げば相當な記録が出るのではないかと思います。

藤田 合宿に行つても今までは自分が先頭に立つて面倒をみなければならぬのが解除されたので楽になつて、泳ぎに専念出来たことがよかつたのではな

いかと思います。今までの経験からいつても村山が 15 秒附近で行けば我々としても頼りになれる。試合には必ず自分のベスト記録が出せる——試合巧者といえはいえるかも知れないが、必ず自分のベスト記録に近いものを出すという確實性をもつていれば頼りになる選手だという風な感じがあるが……

松澤 實際ベテランの貫録を示したと思つたね。

葉室 村山ではあのくらい出るのは當然だと思います。戦争中、中絶していたから悪かつたが……少しもびつくりするタイムではないと思つたね。

小池 だれかが 16 秒ぐらいで泳いだというと 18 秒ぐらいだろうと解釋するが、村山あたりが 15 秒 16 秒で泳いでいると、これはいけないと感ずるからね。

根上 水泳で強くなるには、若い時代になるというが、そういう點で村山、川口が二十七歳六歳であれだけの記録を出したということは、今後の水泳はある程度の年齢までは行けるという意味で大いに賞讃すべきだと思つたね。

藤田 村山が一番自分は年をとつているという自覺なのですが、それがなかつたら村山はもう一躍進出来るのではないかと思いますね。

小池 アメリカにいつたら氣分が合うのではないかな。

藤田 だから今度は相當樂な氣持で練習が出来ているから大いに期待しているが……

松澤 早稲田の田中、川口、東、その邊については……もう一息ガン張つてもらいたかつたが……

田畑 でも田中はよかつたね。

—百、二百レース—

松澤 次に二百、百の濱口について

遊佐 最初から濱口の優勝だと思つていたし、記録も大體豫想通りにいつたわけですが、泳ぎそのものは昨年よりは非常に見た目には強引な感じが出て来たと思つた。その意味で將來頼母しい選手の一人ということもいえると思つた。村山と丸山、これは今だからいえるが、大體村山の方がベテランで丸山はどちらかという去年あたりから出て来た新人の方ですから、やはり最後は村山に歸するだろうと考えていたがコースが幸いにして濱口を中心にして左右に分れた、これで一筋の望みをもつたのですが實力の差は如何ともし難く追込まれてしまつた、

というか最初から問題にされないで追抜かれてしまった、丸山君にあとで聞いてみると濱松の練習あたりからみると非常にオーバーワークで調子が下り切ったところにおつかつたということを知っていたが、上り切つていてもいい勝負をした擧句、やはりタッチの差ぐらいでやられていたのではないかと思いますね。

松澤 結局短距離では濱口が一番問題になると思うが、まだまだピッチが遅いのではないかという気がするが。

遊佐 純粹な短距離の泳ぎ方ではないね。

葉室 二百レーサーですね、二百にびつたりしたピッチで……

—短距離のコツ—

松澤 それでかえつて短距離ことに百なんかではかなり若い人たちに追われたりしているのだけれども、身體が大きい、手が長いという点はあるが、それはそれなりに、もう少しピッチを上げる工夫がまだまだ必要だと思うし、肩が少し固いのではないかな……

牧野 肝腎の腹の下あたりをかく力がない、極端にいうとべつ幕なしになでているという感じですね。ロングなんかをみていると……

遊佐 手を突込んでかくまでの間に力が入るところと入らないところがある。ところがその境い目がない、グーツといつちやう、われわれはグーツと手を入れて、本當に水をつかんで、特に力を入れる時は入れるが……

根上 あれは終戦後のスタイル、アプレゲールですね。

小池 ピリツとしたところがない、水に対するねばりがいいような感じがするね。

根上 短距離は特にそうでないかと思うが、水には上つて行くのだという感じが悪いのではないかな。

藤田 この間も一緒に泳いだが、遊佐の泳ぎと非常に對象的だ。

河津 遊佐の泳ぎはふんどしの結びまで見えたからね。

根上 結局力を入れるところ最後のかき方ですね。

—スタートとターン—

原 それにスタートが實に下手ですね、短距離泳者のスタートという気が全然しません。今日も盛んに遊佐から教えられていたが、スタートからのすべり出しの悪さですね、あれだけで一、二秒損をしている。濱口は特にそういう感じがしますね。

河津 それとサマソールターンをやつていたでしょう、自信があつてずつとやつていくのかい。

遊佐 本人はやつていくが。

小池 この間の決勝でもやつていたが。

松澤 早くもないし、そうかといつて飛躍でもないから楽なうちにやるのはいいが、け飛ばして出てくるところがサマソールであろうが普通と少しも變らないので、やはり短距離泳者としてはまだ足りないね。

小池 けつてもずつと出てくるところがなく、あと止まるみたいな具合に出てくる。

藤田 ターニングの身體の曲げ方が足りないのではないかな、半分伸び切つて出てくる……

遊佐 グツと出た方が楽だから、あとの泳ぎとの引かかりがうまく行くというのだが……

小池 泳ぎでも何でもそうだが、バネというものがちよつとないような気がするが。

遊佐 スタートでポンと飛んでも氣持よく飛べれば、人よりうんと向うに飛べなくてもいいと思う、自分が氣持よく飛べて、それに水に入る角度があるが、水に乗るためにはそれを覚えなければならぬ。飛出して水の中に入つてその角度によつて最初の水が氣持よくひつかかる。變な角度に入ると水の最初のつかみ方が出来ない。

原 水の中に入る時がおかしい、極端にいうとひねれている時がある……

河津 足を早く動かし過ぎたり、手を早くかいたり……

遊佐 私たちの練習し始めはやはりそういうことはあつたが……しかしあれくらい泳ぎ込んでいる連中にはあるわけがないと思うが。

原 スタートして行くという感じがしない、水におつかつて行くという感じですね、あれでは飛込みでなくても、水に入ることを練習しておかなければいいスタートは出来ませんね。

小池 スタートは試合のうちでないと思つていのではないかな、内々では……人よりも先に出てやろうという気があつたらもつと慾を出してみる気がするだろうが……

遊佐 大體スタートは飛出して水を體の皮膚がすつて行くので、その感じでもうかき出さなければならぬという時期が分るが、それが分らないのです。丸山なんかボンと飛んでから、もう少し抜けてからの方がいいという時にかき出している、だから止まつてしまう……

松澤 たしかに身體の脇をこすつて行く水の速度の感じ、その感じが足りないのではないかしら。

遊佐 その境い目の切り替える瞬間が分らないのだね。

松澤 結局短距離は短距離的な、非常に繊細な感情がなければならないものだが、その感じが足りないという点が日本の短距離の缺點だし、丸山なんかはピッチが早いように見えるが本當のピッチでない。これもまだ本當に水の上の方をなでている、だから水がひつかかつてない、そうしてみると、どうも短距離でまだこれという本當の短距離泳者が出ていないが。

遊佐 まず短距離では 57 秒コンスタントでなければ實際のスプリンターでないと思いますね。

河津 だがあの身體なら出なければならぬね。

根上 ずるずるべつたりにかいたら、いくらやつてもそうはいきませんよ。

藤田 すべり出しを覺えただけでもずい分違うが。

遊佐 すべり出しと、百なら百を支配する始めのペースというのは始めの四かきか五かきの間で作つてしまわなければならぬ、あとでガン張るなんてことはとても出来ない、またやろうとしても一定以上の力を要する。

藤田 それと同じように五十メートルのターニングから水に乗つてくるという出だしなんですな。

遊佐 後半をガン張れというターニングしてからガン張るが、それでは力が要る割に出ないわけです。

松澤 もちろんすべり出しが大事だということは、すべり出しをうまく上るばかりでなく、あの上つた瞬間はピッチが上るそれで最初のピッチを決める。またターニングしたあとの最初の浮き上りのところでサツサツサツと早いピッチをやつて、途中で苦しいところは落し氣味にやつて行く、短距離でもその前後の呼吸があるが、その感じが出て来ない。

遊佐 身體の力を抜くということは、私は最近、飛び出したら十の力でかくところを八ぐらいで、多少落してピッチを軽く上げるつもりでかけ、といつ

ている、始めから強引にあるだけの力でかこうとすると肩に力が入るから、飛出したら始めのかき出しはストロークを落してピッチを軽く上げるような出足で出るといつているが、そうやれば大體において肩に無理な力が入らない、強くかこうとすると肩に力が入つてしまう。

一肩に力を入れるな一

松澤 今の短距離の人々は非常に肩に力が入つていいると思うが、それにつけても息の仕方が肩の方で息をついて、腹の底から吸つているのが少い、根上は呼吸のことを話して、水の中から、鼻から息を吐き出せというが、短距離ではそれが特に必要だと思ひます。腹の底から息を吸うこと、これが非常にピッチを上げられるもとなるのだが、どうも肩で息を吸う、肩がコチコチになつて無暗にかこうとしているから思うようにピッチが上らないのではないかと思うね、その意味からいつて短距離には新人群にもまだ程遠いという感じがしますね。

河津 相當呼吸ということ、息の仕方ということを研究しなければならぬ、それによつてピッチも相當支配されると思ひます。

田畑 にも拘らず僕はロスアンゼルスでは非常に有望だと思ふ、57 秒コンスタントというのではない、オリムピック豫選というチャンズでもなければ短距離泳者が 57 秒 2 や 4 で泳げるわけではない、58 秒コンスタントに泳いでいれば 57 秒臺には必ず行けるから彼らの 58 秒臺はむしろ有望だと思ふね。

遊佐 現在長距離はともかく短距離は今のところ待たなければならぬ。ざつくばらんにいえば今度負けてトントン、勝てばよしという氣樂さがある。それに濱口は體力的に恵まれているし本當に百メートルのペースというものを、よく知らない、だから隣りの連中が早いと案外それにつられて行くということが非常に考えられます。その時に泳いだコツをお前よくのみ込んで来いよ、パツと泳いであとその時の泳ぎを忘れたというのでなくその時はどんなかき出しで、どういう感じで泳いだかということをよく記憶に残してくれ、短距離というものははずみですからかき出しとか、すべり出しとかはこれだなと思ふとそれで自分のものになつちやう、それだけをつかんでしまえば長距離と違つて強味がある……

小池 濱口がアメリカに行くと、きつかけで勝つと思ふ、それに雰圍氣があるし、相當色々恵まれた

条件で行くから何かのきつかけで、今まで皆がいつたような缺點をカバーしたらそのきつかけで今度の試合は勝つ、一度ああいう大きな試合に行つて歸つてくると、今までは強いけれども何か青臭い泳ぎをしたのがガラリと違つた泳ぎになつて歸つてくる。成る程圓熟しやがつたなという感じになつて歸つてくるよ。濱口は五十メートルが……

遊佐 28 秒 6 か 8 ……名古屋で泳いだ時は前半 23 秒 6 でいつている、後半は 30 秒 7 で……この間やつたら前半早く泳ぐと後半が 31 秒 2 から 4 ぐらいかかる。

河津 君は 26 秒……

遊佐 前半は 25 秒 8 から 6 ぐらいで入つてたが……

松澤 濱口の初対面の感じではおつとりした感じだが、大試合に對して上らぬかしら……

河津 案外氣が小さいのではないかな。

遊佐 去年國體で五十をやる時に、ぼくには五十には勝てないと思うというからそれがいかん、といつたが、別に大して上りもしないがやはり何か思い込んでしまうところがあるらしい。見た感じではちよつとベルリンオリンピック大會に出た寺田登のような感じがするが、大試合になつても上つてくれなければいいが、カンカンに上つちやつてペースを失うというのからみれば、そういう意味で濱口は安心していい選手のような氣がするね。

田畑 百なんかだつたら上り放しでゴールにちやうだろう。

遊佐 身體が固くなることがあるが、それさえなければぼくは……ベルリンの時には固くなつてしまつたが、勝つ實力は多分に持つていたが、とても固くなつてしまつた。

小池 私たちの經驗からおして飛行機から歸つてくるまで上り放しだよ。

遊佐 ぼくらが行つた時分なんか考えてみても批判するという餘裕なんかなかつたからね。

小池 知らないうちに行つて知らないうちに歸つて來たというような。

— 平 泳 —

松澤 短距離まで勝つて來てくれることを期待して、次に今度のチームの中には平泳背泳種目は入らなかつたが、選手權としてはこの方面にも色々收獲があつたと思います。平泳、特にバタフライとオー

ソドツクスの關係において平泳の批判を……

葉室 オーソドツクスの宇田君があそこまでいつたというのは宇田君の體格とか體力をみるとあそこまで行くだけで宇田君には相當自信をつけたのではないか。昨年、一昨年の練習タイムは變らないがレースのタイムだけ上つている。スタートにしてもターンにしてもそう見劣りすることはない、むしろわれわれの全盛時代と變らないような感じがする。

— オーソドツクスの宇田 —

小池 むしろ強いだろう、宇田のターンは、……スタートはそうでもないが。

葉室 バタフライとレースをしても全然自分のペースを亂さずにびつたりしたペースでやつている、ぼくらの經驗からでもバタフライで、二百メートルを飛出されると非常にまどわされるが。

松澤 泳ぎが大きくなつて來たね、その意味では變つたような氣がするが、去年あたりはどつちかという非常に小さきさみで、ラストに來ると泳ぎが小さく、あせつていたように見えるが、今年は自信があつたせいから分大きな感じがする、最後までかいていたから……

葉室 そのくせ自分のペースになつてしまつたので、ラストで亂れないというところが非常によかつた。

小池 平泳は途中で亂れたら全然ダメだからね。

松澤 二百メートルでオーソドツクスで勝つたということは收獲だつたが、竹林地の泳法は今年の豫選から決勝に至るまでの間にも變つたような感じがするが。

— 竹 林 地 の バ タ —

根上 飛上りが強くなつたのと固いような氣がしたが。

河津 去年のオールジャパンでも百の準決勝で落ちている、今年も最後の決勝でダメになつたというのはある程度みながワーワーいつて飛ばせ、飛ばせ、ガン張れ、ガン張れといつて完全にバタフライが泳ぎになつていない。結局バタフライとして完全な二百の平泳を自分のものにしていなかつた、三大學の時の泳法と、今度のオールジャパンの時では三大學の方がよかつたが、あの時二百メートルの百を 1 分 13 秒臺で飛んでいる。オールジャパンの合宿で 15 秒臺では確實に百を單獨で泳げるといふ、オールジ

ヤパンの決勝の時に百五十迄で勝負をきめるつもりで百をガン張つた、去年のオールジャパンの時も百をガン張つたが落ちた、餘りガン張れ、ガン張れでやつたからあせつて力が入り過ぎて頭が上つて立つちやつた。

松澤 立つてしまつたが、決勝に行くに従つてますますガン張つたために立ち上つたと解すべきか、あるいは意識してあいう泳ぎを泳いだかが問題で、意識したとしたら竹林地は大いに改めるべきではないか、百でさえ早稻田の藤岡、日大の安東あたりに結局最後には抜かれている。

河津 ガン張つて泳ぐと立つということは本當に自分の泳ぎになつていない證據だと思ふ。

藤田 竹林地は體力的にも恵まれていないのではないか、四日間の試合にはたえられないのではないかと思うが、しまいになるとへばつて來て。

葉室 果して竹林地が最後まで續くかということは一應疑問で、豫選がなく決勝一發だつたら勝つてゐる、45秒ぐらいで泳いでいると思う。

根上 豫選で安東と二人で泳いでいるのをみたが、安東には柔か味がある、あの點で竹林地は一つ先の先覺者で終るのではないかと思われるが、ちよつとそういう氣がした。

松澤 安東のように水に食いついて行くような低い姿勢で行くことが、バタフライで一番大切な點だと思ふが。

藤田 百はどうしてもバタフライだろうね、絶対にオーソドックスでは勝てないだろう。

葉室 しかもクロールの選手のバタフライの方がいいですね。

遊佐 バタフライというのはその日の調子で變り易い泳ぎでないですか。

藤田 それに支配されるね。

葉室 というのはまだ完成の域に達していないのだね。

小池 日本のバタフライだつたらそういうことはいえるね、しかし平泳としては去年から今年をみて順調に進出しているという感じは受けるね、バタフライにしるオーソドックスにしる去年は50秒そこそこですよ、それからみると約4秒進歩しているのだから。

遊佐 少くともバツクよりは進歩している、バツクは退歩しているからね。

松澤 百でも13秒という聲を聞いたのは久しぶ

りだし……

小池 バタフライの百1分13秒8の記録はアメリカにバタフライが始まつた直後ぐらいの記録ですよ、ケーズレーが13秒4で泳いでいるから……

松澤 それにしてもずつと伸びていることは確かで、泳ぎが確りしたことは感ぜられる。

藤田 40秒に近づいて行けば、オリンピックでもある程度問題にされるだろうと思うね、カーターにしても40秒前後ですから。

遊佐 去年が39秒3だから……しかし準決勝で36秒ぐらいで泳いでいる……

辻 ロンドンでは36秒は出してないよ。

遊佐 いや、何かでみたよ。

小池 アメリカでは泳いでいるかも知れないね。

遊佐 豫選か何かで6秒だかで泳いでいるのをみたよ。

(註 五十米プールではアメリカのオリンピック豫選で36秒3を出した)

—バタとクロール—

松澤 昨日の清川の記事を見てもカーターはブレストを泳ぐと同時に短距離も泳いでいるらしい、バタフライという泳法はクロールと一脈相通ずるものがあるので、ぼくはこのカーターの傾向は面白いと思うのですが。

根上 タツチのかき方は非常にクロールと似ていますね。

遊佐 かく力がついているのじゃないかな。

小池 オーソドックスよりむしろバタフライとクロールの方が近似性があるね。

松澤 手の入れ方とかについて、もつとクロールに近づいて來ていいものだと思うが。

遊佐 近づかなければなりませんね、水の上に腕を出す、そして手を入れる時の水のつかみ方というものはクロールと似たところがある。抜かなければなりませんから……

松澤 しかも両手を同時にひつかけるだけにむしろクロールよりも手を強くかけるのではないかと思う。

根上 腕の力はクロールよりも楽しいですね、一つの例ですが私のところの山田というのが去年までは長距離をやらせていたが腕を外してからクロールをやると外れた方の腕にこたえてしようがない、

それで前にブレストをやつたことがあるからブレストを一つやらせてみてくれというわけで、三大學が終つてからやらせたが結局あそこまでは行くし、クロールで伸びないというにはある程度……

遊佐 それは少しひどいな(笑聲)

松澤 クロールで伸びるぐらいのものでなければバタフライも伸びないのではないかな。

根上 足の出来るものでなければダメだね。

小池 ぼくはバタフライの足はもつともつと變つて行くと思う、普通の足でまともにやつているバタフライというのは伸びていかないと思う、どうしてもバタフライには一番いい足はクロールのようにたく足がいいと思うね。

松澤 規則では許されないが……

小池 それをうまくごまかせるようにもつて行くのが……アメリカ邊りでもそういう傾向だと思えますね。

松澤 小池の足をもつとずるくしたような足だね。

小池 だからバタフライに加味して一番早い泳ぎ方はクロールの足ですよ、そうしてやつたら非常にバタフライに似ていて物すごいスピードが出ると思うね。

松澤 それは一九三五年にキツパスが日本に來た時にフロリダでバタフライをやつて足を打つものがある、そのフィルムも實はとつてあるのだがという話をして大いに話合つたことがあるが……

小池 あれだけ浮き上つた身體をブレストの足では支え切れない、だからこれをどういふように打つとうまくもてる、それをうまくブレストの足みたいに、ごまかしの足が出来るようになればうまくなると思う。

松澤 前畑が一時足をあおる時に足の甲を使つていたことがあるが、ロスアンゼルスから歸つて來た直後のような気がするが、足の裏であおるのでなく、水をつかまえて、足の甲でやつて、け返して來たような時期があつたが、ちよいと兩方に開いてけ飛ばせばいいのだから足の甲を使うような使い方、兩足でひつぱたくのでは規則違反になるからちよつと足をひねつてかかとを回したら案外いい足が出来るのではないかという気がするが、とにかくバタフライその他のことでブレストも非常に進歩したようだが、次にバックに移つて、ブレストに較べるといささかバックの進歩がにぶいのではないかという氣

がするが……

—背—

泳—

河津 この前の選考委員會でバックの1分10秒切るのはブレストで2分50秒切ると同じぐらいたという話があつたが、ぼくが考えるのにはバックの10秒を切つた人はあまりいないね。

遊佐 吉田、兒島、清川、日大の谷口、西野……

河津 澤山はいないのですよ。

小池 早稲田には。

牧野 坂本が切つたよ。

小池 とにかく六人ぐらいた。

松澤 清川の記事によるとアメリカでもそういらしい……

河津 低調低調というがそう低調でないと思う、今度のオールジャパンで西野、藤井が餘り振わなかつた點は、ぼくなんか學生時代からすぐ社會人になつても一年や二年はある程度出來たのではないかと思うが、どういふわけで西野あたりが記録が出なかつたのか……

松澤 西野は練習不足、どころか、練習してなかつたというのが實情でなかつたか。

小池 西野が出るということは、相當練習して出るのであるという風に考えていたが。

遊佐 練習してないのですね

河津 オールジャパンの五十メートルの試合、一等は32秒6か8だつたが、こういう點からみると昔のバックはわれわれでも31秒、兒島なんか30秒臺で泳いでいるから現在の五十メートルのスピードから行くと百で1分10秒切るのは無理でないか32秒切れる人でないと切れないのではないかと思うね。

松澤 五十のピッチが上つてないね。

河津 百のバックをみても、百のバックの五十メートルは33秒臺、遅いものは34秒で入つている。あれでは絶対に1分14秒も切れないね。

松澤 それと同時に昨日もあるプール開きで河津らが泳いでいるのをみてどこかで歎聲を發したものがいたが、今の選手ではあれだけのわざをもつていける人はいないというわけで、技術的にも今の選手はまだ工夫が足りないのではないかという気がする。何か身體ばかりが泳いでいるような気がするし、それとバックが相當技術というか、技巧というか……

遊佐 今の選手は若さと練習でもつていつている

のですね。

— 山 本 の 將 來 —

葉室 泳ぎとしては山本が……

小池 ガン張つてガン張れる泳ぎをしているね。

葉室 まだまだ早くなる泳ぎ方ですね。

松澤 少しわざを覚えたら 案外いい方かも知れない。

藤田 まだ高等學校だからね

小池 關學に入つたよ。

原 今のバツクの選手には昔のような身體のやわらかい選手はいないのではないかな。

根上 それはクロールでも何でも一般的にいえるのではないかな。

原 昔のバツクの選手はしなやかではあつたが肝腎のところでは力が入っている。われわれみたいな素人が見ても身體がびつたり来ないような気がするが。

小池 平泳は相當の層をもっているが、今の日本では長距離が強くなつて、次に短距離が強くなつて、その次にバツクぐらいくるのではないかな、ブレストは別格だが。

松澤 これもただ器用ばかりではいけないが、昔の技術にもどしたら、アメリカの手薄なことも分つたのだから案外日本は盛り返し、また一、二、三をやらないとも限らないね。

小池 さつきバツクの 10 秒と、ブレストの 50 秒と同じは妥當でないかというが、そういえばそういう気がする。バツクで 10 秒切つたあとの 1 秒のところで、8 秒 8 といつたらあつと感ずるからな、10 秒の線まで来たらあと少しでびつくりするような記録になるからね。

根上 やはり平泳の 46, 47 秒というところかな。

田畑 百の 1 分と同じでないかな。

藤田 そんなものですかね。

根上 少しきついかも知れないが……

藤田 やはり 1 分の線ですよそれをすぼりと切つている選手はそういない、たまには切るのもあるが 1 分と 1 分 10 秒がいいところかな。

— 女 子 競 泳 —

松澤 まあ 1 分 10 秒を切る選手が出て来なければバツクもどうにもならないが……次に選手権大會として女子競技も一つ、全體としては十分とはいえ

ないが、それでも今年は確りした泳ぎ手がぼつぼつ出て来たようだし。

藤田 四百とバツクがよかつたですね。

松澤 それと二百米自由形ですか、女子の方も男子と同様に長距離がやや伸びて来たというところでないか。

藤田 長い方がよかつたですね。

原 短距離は去年より悪いですね。

松澤 女子の二百では全體として伊東が進出し、伊東の森が 2 分 49 秒と、これも 40 秒臺に突入しているし、世界的には大きなことはいえないが新しい人が大分出て来ているから……

藤田 塚本も強くなつてますね。

松澤 塚本、森……

原 森は一昨年の優勝者ですよ。

松澤 女子の短距離はどうしてもピッチが上らないね、これもようやく 20 秒臺が切れたところですか、小島和枝の 12, 3 秒臺を見ると本當に……

— 女 子 の 練 習 法 —

辻 ぼくの見た印象では阿部さんとか、去年強かつたのに今年はそれ程でもないという浮沈が男子に較べて多いような感じがするが……

藤田 それは生理的な影響もあるのだよ。

松澤 女子は何といつても出来不出来が多い……

葉室 けれども去年程ではないですよ、今年の方が、高低は……

小池 女子の浮沈が多いというのは、女子の練習方法というものはコンスタントな將來づけるような練習をしてないと思う。男と同じような練習をさせては無理かも知れないがその近くまでもつてくるような練習をするのはそう無理ではないと思うのだが……

原 おだててやらせているようなものですよ。

遊佐 葉室がいつていたが、今年は練習期間が短かつた、少くとも男が練習し始めるころには女子も練習し始めるようにならないと出て来ない、と同時に女は男と違つて早くお嫁に行つたりするので水泳をやっている選手生活が短い、それだからもう少し早くから、普通の男子なら新制中學に入つてからやりかけるところだつたら女はもう少し早くから始めてもらう、前畑さんは小學校から始めていたのでしょう。そういう時期からやつてもらわないと世界的な選手は出ないということになるのではないかと思

うね。

葉室 しかし實状は、昔よりも小學校ではやらなくなつたですよ、昔はまだやつてたが……

小池 當然の歸結ということになるのではないかな。

葉室 中學校でもやつてない。

松澤 特に女子競泳においては何といつても中等學校を過ぎてしまえば止めてしまう。高等學校もわづかしか期間がないしその意味でスタートが遅くさせられているということは日本の女子競泳にとつては致命的でないかと思うが……

辻 陸上の織田さんが、陸上選手を見ると女子の身體がいい。戦争前よりいいという、その目で女子水泳の選手をみると男を見なれているわけではないが何か貧弱でないかという気がするが。

河津 本當に小さいような気がするね。

原 同感だね。

松澤 男の方がそろいすぎたせいかもしれないが。

田畑 去年よりは少しは大きくなつたというような感じはするが、とにかく貧弱だよ、男のあとに女子をやると大人と子供みたいで……

松澤 女子のバツクの東京の小椋、去年はとし子さんがよかつたが、今年はとみ子さんがよかつた……あれはどつちが姉さん……

伊藤 早い方が姉さんですよ。

原 女子には水泳についてというより女子運動全般についてということになるね。

田畑 しかし陸上は身體がいいそうだから……勤勞者大會を見にいつたが實際いい身體をしているよ。

松澤 やはり日本の女子は成熟する年齢が遅いというようなことになるのではないかな。

河津 ぼくの感じたのは、女子では全部ターンが下手だよ、小椋が一等になつたけれどもそういうような氣持がした。

松澤 豫選大會においても實は注意していたのだが、河津監察員の目を逃れるあたわずだな、それとルールを嚴守してもらいたいね。女子のブレストなどは。

河津 髪が前に垂れると横を向いて手でかき上げてまた泳いでいる、だれも知らないらしいが……

辻 昔は帽子をかぶっていたが近ごろはかぶつてない、それでよく一般の人から帽子をかぶらない方が早いのではないかという質問をよく受けるのだが。

松澤 帽子そのものがないのですよ、いい帽子も悪い帽子も。

辻 帽子をかぶっていた方がいいでしょう。

河津 髪が邪魔になるし、ブレストなんかやると前にたれてくるから……

小池 かぶつてもどうでもいいというのならかぶつてもらいたいね。

松澤 小學生の赤白帽子、あれをはち巻代りにかぶつても髪のばらつくのは防げると思うが女子の指導者はそういう點で氣をつけてやつてもらいたい。

遊佐 一人かぶり出すとみなかぶり出すと思うね。

葉室 強い選手に無理にかぶらせたらみなかぶるよ。

遊佐 みなかぶらないで自分だけかぶるのは何かてれくさいのだろうね。

松澤 恐らくそういうところだろうね、何かもつと全般的な問題について氣のついた點は。

—大 會 の 運 營—

原 第一日目の東伏見の豫選を神宮でやりたい、來年は是非やらせたいと思うのですがどうですか。

小池 交通事情や何かを考えるとそういうことは思うが、全體の大會マネージとしては神宮プール以外でやつた方がいいという感じを受けるが、神宮プールが進駐軍の手にある限りにおいては……

遊佐 貸してくればいいのですね、選手は特に強調しているね、ぜいたくをいうわけではないが神宮プールでやればいいと……

原 東伏見に行つてやるということは選手權大會全體から考えて、ちよつと豫選だけがローカル大會に似たような感じがするらしい。

松澤 地方から來て檜舞臺をふまずに歸るということもね。

小池 そこでどうしても神宮プールで泳いでやろうというので準決勝まで残ろうと……

藤田 棄權の防止とか、それから標準記録の判定をして、餘り質的にも見劣りのしないものにして豫選からやるということを考えて……

—女 子 と 帽 子—

原 そうなつてくると、事情が許さないから仕様が
ないが飛込みの決勝はあそこでやつている。そう
なるとちよつと感じが違つて来て具合が悪いと思
うが。

藤田 ぼくがいうのはそうでなくて、ある程度質
的に立派なものを神宮にもつて来て第一日から神宮
でやりたいという。

田畑 今度の大會を顧みて、結局古橋、橋爪の千
五百のレコードはよくないということを盛んにいわ
れたが、あれは結局固くなつたせいだと思ふ、とい
うのは陛下がお見えになつたし、水連に復歸されて
アメリカに行くのだという、しかしとにかく日本に
おいては戦後、選手をしてあれまで固くさせたとい
うことは日本の選手権大會が國際的になつたとい
う意味で、陛下のお見えになつたことと共に、非常
に記念すべきことで、日本の選手権大會が世界選手
権大會まで近づいたということはいえると思ふ。

河津 千五百の内容から行くと……

—練習と記録—

遊佐 もう一回、千五百があと二週間位かにあれ
ば記録は全然違ふと思ふ、二人並んでの千五百のレ
ースというのは去年以來やつてないのだから……古
橋はこの間で絶対という自信をもつたんですよ。結
局やつたことがない、未知數で記録が練習中千メ
ートルあたりで二秒くらいしか違つてない。橋爪も試
合には強い、競り合つているのだから、だから絶対
的な自信は古橋にもなかつた……

牧野 古橋、橋爪が練習の時より記録がいいとい
うのは練習中の記録は十分とつてない、だから實力
を知らないのですよ。本當の練習の實力を……だか
ら練習方法によつては伸びると思ふ、二人とも自分
らが考えた練習方法と變つた練習方法をしているそ
れをもつときつい、というかがつちりした練習方法
でやつたらまだまだ伸びると思ふね。

辻 牧野君は練習中、長い距離の記録はどんでん
とつたか。

牧野 とつた、今の練習では伸びる選手を伸ばさ
ないでおいているので…… しかもベースを知らない
というので……

小池 實際にとつている練習方法を批判するわけ
ではないが、そういう練習方法は、例えばあるレベル
まで来た選手が、技術のことは心配しない、ただう
まく水を泳ぐ調子を覺えていることと、體力をつけ

ること、というようなものだけをやつていて試合に
行つて気分が出てくれば相當行けるといふような練
習方法であつて、これからの選手に合うといふこと
はどうかという感じがするが。

遊佐 それは結局ダメだよ、というのはぼくなん
かが五十を泳ぐと 26 秒臺で泳いで、八百なり千な
りをそろそろ泳ぐ、そうすると必ず百では 58 秒 2
は必ず出る。そういつたところは新しい選手とか、
これから伸びる選手は……

小池 そういう選手は、上に上つて行く時は非常
にいい、本當に自分が泳ぎ込んで自信をもつていな
いとちよつと泳げばいい記録が出るといふのは、一
度覆されるとべちやんと來ると思ふ……

松澤 その話は昔の合宿を思い出させるね、長距
離を泳いでいる時でもストップウオッチをとつてい
るという苦情があつたりして……

遊佐 逆にいうと始終練習中タイムをとられたら
パツとした飛躍がない、ずつととらなくて何かのは
づみにとるとえらくいい記録が出るといふことがあ
る。そういう意味からいつもある一定のレベルに
達したものは、そういつた練習方法もたまにはいい
こともあるが、今の古橋、橋爪あたりにはちよつ
と……

小池 ぼくは日本の水泳全部の傾向としてはそう
いう方法は常道でないと思ふね、邪道だと思ふ、や
はり苦しい練習をして一步々々築き上げて行く強さ
が本當の強さだと思ふね。私たちは相當苦しい練習
をしている。その點彼らはタイムに對して神經質に
なつていと思ふ。

遊佐 それはタイムをとらない選手には特にいえ
るね、始終ぼくらなんか毎日とつたよ。

根上 それがないとかえつて淋しかつたね。

小池 あの連中は泳ぎが分るといつても、今日だ
つて三百を泳がしても最高 1 分 14 秒ぐらいで入つ
ているが自分では分らない、もつと遅いと思つてい
るらしいが、タイムを押してみると 14 秒で入つて
いる。

—再び大會の運営について—

松澤 大會全體のマネジメントについてちよつ
と、今年は非常によくいつたと思ふが、それには大
分前から色々注意して準備した點にもよるが、

藤田 ぼくは勸進元といふか大會全體の運営の方
を一生懸命にやつていたので、ぼくの方から反對に

競技役員の方を注意してみていたが、今年は鶴さんが厳密に役員を指揮してやつたので非常によかつた。特に一番今までのやり方と目立つて違うのは計時員がスタートの方を非常に注意して見ていた。今までは、極端な人はスタートを見ずにタイムを押したり何かしていたのがあつたが、今年は遊佐君のピストルを一生懸命に見ていた、そういう点が統一されて脇から見ても實に氣持がよかつたわ。

小池 全般的には完全でないが、今までのうちでは一番よくいつたでしょう。

松澤 その點ははつきり認められると思うね。たゞ色々やつてみて、通路に色々サクが出来て寫眞班その他の取締りはよかつたが、その代り通路は何の役にも立たなかつた、少し通路を忙がしく通ろうと思うと通れない。實に不便な通路になつた。特にゴール前に圍つたサクの中に腰かけイスをおくことは止めた方がいいと思うね。

藤田 私の方は全然考えてなかつたが、審判の方から特に要望があつて、ずつと立ち切りでは疲れるから二三脚おいてくれという、それが萬年になつたが……

松澤 二三脚で腰かけていればいいが……

藤田 それから監察員は邪魔になりますか。

田畑 大體あのプールは真中にあるのはダメなんだろう。

松澤 臺を立てられたのは。

遊佐 あの臺を高くしたらどうですか、その下を

通れるようにして……

松澤 あれであのプールの機能が半減された、といつては大げさかも知れないが……

小池 それから神宮プールの腰かけも何とかしなければ、進駐軍でなおすかこつちでなおすかしなければダメですね、とてもすわつてはいられませんよ。非常にひどいもので、引くり返つているのがずい分ありますよ。

原 ウォーターポロのためにはヤグラのある方がいいね。

藤田 いや、そうでないよ、ウォーターポロも、今のままではいけないが、昔やつたような幅の広いプラットホームを作つてもらつてレフリーが走り歩ける程度でないと本當の審判は出来ないよ。

松澤 それではこちらで。

渡米選手の決定

日本選手権大會は渡米選手を決定する豫選會をかねて行われたが次の六選手が選ばれ、八月十六日からロサンゼルスで行われた全米男子水泳選手権大會に出場した。

代表選手主將村山修一、古橋廣之進、橋爪四郎、濱口喜博、田中純夫、丸山茂幸

なお團長は松本瀧藏氏、トレーナー村上勝芳氏で監督は水連からアメリカに派遣中の清川正二ヘッドコーチが當つた。

日本選手権水上競技大會うらおもて

島田桃一郎

日本選手権水上競技大會うらおもてと題はつけて見たが、おもての方はあらゆる面で報道されているので、主に舞臺裏をのぞいて貰う事にする。

何によらず表の方は華かで、うらの方は地味なものと相場がきまつているが、日本選手権水上競技大會ともなると特に最たるものである。

○大會準備

締切期日も近づいた六月末になつて、渡米選手を早く決定しなければならない必要が出来、大會開催

期日を三週間も繰上げる事になつた、これが爲め準備に相當まごついてしまつた。

何時も大いに活躍する清川さんが居ないので、大きな痛手となつた。

高貴な方の御招待には田畑會長と西本さんが當られ、原さんと小池さんが對外關係(神宮プール、都稅務課、警察署、消防署等々)藤田さんが招待狀と招待券を取扱われ、志村さんが東伏見プール關係、川田さんが新聞寫眞記者の方を引受けられ、伊藤さんがプログラム關係を取扱つた。殊にプログラムは

毎日の結果を翌日のプログラムに入れるので印刷所に泊り込みで活躍された。当日のプログラム賣は女子部員が引受け、磯野さん始め一同大奮闘をして呉れる。飯島、新井兩嬢其他が會員券の印押等雑用を夜遅くまで手傳つてくれた、何分晝間は訪問者が絶えないし、電話は一刻も休まない。従つて仕事は夜やると云う事になる、大會一週間位前から睡眠は一晩置きにしたが、それでも追つげず残念乍ら準備は不充分であつた。

○世界記録

急に大會期日が三週間繰上げとなつたので、出場申込者は少ないのではないかと案じられたが、これは杞憂であつた。申込者が多數な事は喜ばしい事だが1500米40名には多過ぎて困つた。1500米は準決勝をやつては選手が堪らぬので、最高36名で打切る事にした。結局早、慶、日、立四大學の21分臺の選手は推薦を取消すことになつた、推薦の記録では19分臺が10名以上居るので、当日の壯觀を思い一同胸をわくわくさせていた。

本大會の豫選には6着迄正式計時をすれば、今迄會てない世界に誇る二十傑が出来るかと期待していたが、3着(計12名)迄しか正式計時をしてないのでガツカリしてしまつた。4着以下に20分10秒位の選手がいたがそんな譯で選手にも氣の毒であつた。もう少し臨機應變の處置が欲しかつた。

1500米に世界新記録を期待したがお互に牽制し合つて失敗し、期待しなかつた400米で新記録が出たうれしかつた。

世界記録が出ると云う事は、其の仕事に携つている者に取つては長男が生れたより嬉しいものだ。

尙水連の時計はスイス製ロンデンで、現在日本にあるものうちで最も正確なものであり、大會毎に服部時計店で調整している。

○役員と入場券

こう云う大きな大會となると、役員は招待券と入場券で非鳴をあげてしまふ、一般の人から見ると役員ともなれば招待券など自由になると思つているら

しい、ところが實際は水連から渡す招待券は一枚宛である。若し何時も役員から招待券をせしめている人があるとすれば、それは役員が入場券を買つて御招待の印を押して進呈しているのである。頼まれて買つて渡すと金を拂はない者も相當あるらしい(これは他意はなく役員だから水連から自由に持出せると考えているらしい)有名な役員程頼まれる率も多く、金を呉れとも言えないで、數萬圓がとこ、會員券を買つて全く助けて呉れよ——と泣面をするのである。

○應援團

水上競技の觀衆は極めて靜肅で紳士的で、アメリカのキツパス監督を讚嘆せしめたという話だが、昨年あたりから應援團が出場して、大分にぎやかになつた。水泳に應援團の應援が効果があるものか、どうか知らないが見た眼には大變面白くなつた、だが應援團の名で無料入場をしようとして、制止する役員と悶着を起すのは困つたものだ。もつとも連盟では常識的に考えて、これは應援團の名をかたる暴力團の仕業だろうと思つている。

○ヤミ切符と偽プログラム

ヤミの會員券賣には野球なども相當手を焼いているらしい、今度の大會でも成るべくこれを防止しようと努めたが、これは結局だめだつた。

驛を降りて出て來ると、ヤミ切符屋が待構えている「もう切符は賣切れですよ、これももう二、三枚しかありません」と云われる。折角來た程だから三倍位出して買つてしまふ。會場迄行つて見ると當日賣りはすぐ買える、入場して見るとまだ空いている、こんな手に引掛つた者が相當居るらしい。

偽プログラム賣も驛の前に出ていた、主催日本水泳連盟と大きく刷つてあるのが見えるので、大部分これに引掛かるらしい(もつともこの偽プログラム賣りも良心的?でプログラムとは云わずメンバーといつて賣つていたが)これは20圓出してもスタンドの尻の下へ敷く役しかしない。

昭和24年日本選手権水上競技大會記録

男子競泳

100米自由形

豫選

組	順位	氏名	所屬	時間
A	1	眞木昌	(櫻泳會)	1:01.6
	2	浪花欣吾	(稻泳會)	1:03.6
	3	伊海連作	(明大)	1:04.6
B	1	太田黒八郎	(八幡製鐵)	1:03.8
	2	天野靜二	(聖ポール)	1:03.3
	3	小杉徳雄	(櫻泳會)	1:03.8
C	1	濱口喜博	(櫻泳會)	1:00.0
	2	小池哲夫	(三水會)	1:02.8
	3	中瀬清	(明大)	1:04.4
D	1	丸山茂幸	(櫻泳會)	1:00.8
	2	小柳清志	(稻泳會)	1:01.8
	3	野間隆彦	(廣島高)	1:02.2
E	1	仲村武平	(聖ポール)	1:02.2
	2	谷合繁男	(稻泳會)	1:03.8
	3	大奥平一	(郡永會)	1:05.8
F	1	上杉猛	(三水會)	1:01.4
	2	木本彰	(櫻泳會)	1:03.0
	3	井原孜	(伊東高)	1:04.0

準決勝

A	1	丸山茂幸	(櫻泳會)	1:00.8
	2	眞木昌	(櫻泳會)	1:01.0
	3	野間隆彦	(廣島高)	1:01.6
B	1	濱口喜博	(櫻泳會)	59.2
	2	上杉猛	(三水會)	1:01.2
	3	仲村武平	(聖ポール)	1:01.8
決勝				
	1	濱口喜博	(櫻泳會)	58.8
	2	眞木昌	(櫻泳會)	59.8
	3	丸山茂幸	(櫻泳會)	1:00.8
	4	野間隆彦	(廣島高)	1:01.2
	5	仲村武平	(聖ポール)	1:01.4
	6	上杉猛	(三水會)	1:02.0

200米自由形

豫選

組	順位	氏名	所屬	時間
A	1	眞木昌	(櫻泳會)	2:22.6
	2	小池哲夫	(三水會)	2:23.2

B	3	石井明	(白門水)	2:29.6
	1	濱口喜博	(櫻泳會)	2:15.6
	2	柳本隆	(稻泳會)	2:21.0
C	3	井原孜	(伊東高)	2:21.2
	1	仲村武平	(聖ポール)	2:20.0
	2	山本新吾	(關西大)	2:24.2
D	3	寛良夫	(櫻泳會)	2:25.8
	1	丸山茂幸	(櫻泳會)	2:14.6
	2	谷合繁男	(稻泳會)	2:24.0
E	3	浪花欣吾	(稻泳會)	2:24.0
	1	村山修一	(稻泳會)	2:18.0
	2	木本彰	(櫻泳會)	2:25.8
F	3	杉原滿弘	(尾道高)	2:26.4
	1	坂本幸盛	(八幡製鐵)	2:21.0
	2	上杉猛雄	(三水會)	2:21.2
	3	小杉徳雄	(櫻泳會)	2:22.6

準決勝

A	1	村山修一	(稻泳會)	2:13.8
	2	丸山茂幸	(櫻泳會)	2:14.0
	3	柳本隆	(稻泳會)	2:18.0
B	4	井原孜	(伊東高)	2:19.8
	1	濱口喜博	(櫻泳會)	2:12.8
	2	眞木昌	(櫻泳會)	2:15.6
	3	坂本幸盛	(八幡製鐵)	2:18.4
	4	山本新吾	(關西大)	2:19.8

決勝

	1	濱口喜博	(櫻泳會)	2:11.6
	2	村山修一	(稻泳會)	2:12.4
	3	丸山茂幸	(櫻泳會)	2:14.6
	4	眞木昌	(櫻泳會)	2:16.8
	5	坂本幸盛	(八幡製鐵)	2:17.0
	6	柳本隆	(稻泳會)	2:18.0

400米自由形

豫選

組	順位	氏名	所屬	時間
A	1	古橋廣之進	(櫻泳會)	4:44.0
	2	柳本隆	(稻泳會)	5:03.6
	3	山本新吾	(關西大)	5:03.8
B	1	村山修一	(稻泳會)	4:55.8
	2	茶畑大	(櫻泳會)	4:57.4
	3	川口友平	(伊東高)	5:00.8
C	1	川畑彌	(櫻泳會)	5:01.4

	2	濱田芳夫	(同志社大)	5:01.4
	3	德重里司	(櫻泳會)	5:03.0
D	1	川口義和	(明大)	4:54.0
	2	中山順一	(櫻泳會)	4:57.0
	3	長澤二郎	(稻泳會)	5:01.8
E	1	田中純男	(稻泳會)	4:58.4
	2	木山昌平	(櫻泳會)	4:59.8
	3	高橋武夫	(三水會)	5:29.0
F	1	橋爪四郎	(櫻泳會)	4:50.6
	2	坂本幸盛	(八幡製鐵)	4:58.2
	3	杉浦貞夫	(三水會)	5:04.6
G	1	東昇	(櫻泳會)	5:01.4
	2	藤野健三	(稻泳會)	5:01.6
	3	安藤實	(稻泳會)	5:10.3

D	1	藤野健三	(稻泳會)	19:54.6
	2	東昇	(櫻泳會)	19:55.8
	3	川口友平	(伊東高)	19:58.4
決 勝				
	1	古橋廣之進	(櫻泳會)	18:58.8
	2	橋爪四郎	(櫻泳會)	18:59.8
	3	田中純夫	(稻泳會)	19:15.4
	4	川口義和	(明大)	19:16.8
	5	藤野健三	(稻泳會)	19:34.4
	6	川口友平	(伊東高)	19:37.6
	7	東昇	(櫻泳會)	19:49.6
	8	田中寧夫	(明善高)	19:54.0
	9	濱田芳夫	(櫻泳會)	20:26.2

準 決 勝

A	1	古橋廣之進	(櫻泳會)	4:37.6
	2	川口義和	(明大)	4:53.2
	3	坂本幸盛	(八幡製鐵)	4:54.6
	4	東昇	(櫻泳會)	4:55.6
	5	中山順一	(櫻泳會)	4:57.0
B	1	橋爪四郎	(櫻泳會)	4:45.4
	2	田中純男	(稻泳會)	4:53.4
	3	村山修一	(稻泳會)	4:55.2
	4	藤野健三	(稻泳會)	4:55.8
	5	茶畑大	(櫻泳會)	4:59.2

決 勝

	1	古橋廣之進	(櫻泳會)	4:34.6
	2	橋爪四郎	(櫻泳會)	4:42.6
	3	村山修一	(稻泳會)	4:47.0
	4	田中純男	(稻泳會)	4:52.2
	5	東昇	(櫻泳會)	4:52.8
	6	川口義和	(明大)	4:53.4

1500 米 自 山 形

豫 選

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	橋爪四郎	(櫻泳會)	19:40.0
	2	濱田芳夫	(稻泳會)	20:16.0
	3	茶畑大	(櫻泳會)	20:22.4
B	1	川口義和	(明大)	19:41.2
	2	田中寧夫	(明善高)	20:00.8
	3	木山昌平	(櫻泳會)	20:10.0
C	1	古橋廣之進	(櫻泳會)	19:06.6
	2	田中純夫	(稻泳會)	20:02.0
	3	中山順一	(櫻泳會)	20:20.2

50 米 背 泳

豫 選

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	山本速水	(關西學)	32.8
	2	中島雅好	(傳習高)	33.6
	3	赤櫻卓爾	(三水會)	34.0
B	1	黒佐年明	(八幡製鐵)	32.8
	2	杉村了	(櫻泳會)	33.4
	3	町野和夫	(櫻泳會)	35.6
C	1	待鳥啓三	(稻泳會)	32.8
	2	白井孝司	(三水會)	32.8
	3	正村孝司	(稻泳會)	34.2
D	1	榎谷周二	(櫻泳會)	34.0
	2	宮部修	(伊部高)	35.0
	3	水崎浩吉	(三水會)	35.2
E	1	藤井敬次郎	(橫濱ゴム)	32.4
	2	大橋俊信	(石川水協)	34.8
	3	芦澤哲男	(稻泳會)	35.2
F	1	西野恭正	(櫻泳會)	33.0
	2	田中今吉	(三水會)	34.2
	3	足立行敏彦	(稻泳會)	35.0
G	1	倉橋範彦	(濱松西高)	33.4
	2	木部傑之	(伊東組)	33.4
	3	上田末治	(館山青年)	36.2

準 決 勝

A	1	黒佐年明	(八幡製鐵)	32.6
	2	藤井敬次郎	(橫濱ゴム)	32.8
	3	白井孝司	(三水會)	33.0
B	1	山本速水	(關西學)	32.4
	2	西野恭正	(櫻泳會)	32.6
	3	待鳥啓三	(稻泳會)	33.0

決 勝		氏 名	所 屬	時 間
1	黑 佐 年 明	(八幡製鐵)	31.8	
2	山 本 速 水	(關西學)	32.0	
3	西 野 恭 正	(櫻泳會)	33.0	
4	白 井 孝	(三水會)	33.0	
5	待 鳥 啓 三	(稻泳會)	33.0	
6	藤 井 敬 次 郎	(橫濱ゴム)	33.0	

100 米 平 泳

豫 選

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	竹 林 地 文 雄	(明 大)	1:17.2
	2	坂 本 幸 男	(關西學)	1:19.0
	3	山 田 芳 美	(聖ポール)	1:19.0
B	1	關 根 善 次 郎	(稻泳會)	1:17.4
	2	宇 田 久 壽 秀	(櫻泳會)	1:17.6
	3	吉 永 清	(三水會)	1:18.2
C	1	安 東 昭 次 郎	(櫻泳會)	1:16.0
	2	飯 田 俊 太 郎	(稻泳會)	1:19.0
	3	杉 山 祐 二	(聖ポール)	1:19.4
D	1	下 坂 篤	(櫻泳會)	1:18.6
	2	宮 澤 正 夫	(稻泳會)	1:22.2
	3	折 井 孝 一 郎	(三水會)	1:22.2
E	1	清 水 敏 夫	(三水會)	1:18.6
	2	萩 原 孝 男	(櫻泳會)	1:20.0
	3	五 味 茂 雄	(櫻泳會)	1:20.4
F	1	藤 岡 達 昂	(稻泳會)	1:15.4
	2	近 藤 恒 三	(三水會)	1:22.0
	3	原 茂 樹	(聖ポール)	1:22.4

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	山 本 速 水	(關西學)	1:12.0
	2	待 鳥 啓 三	(稻泳會)	1:13.2
	3	大 橋 俊 信	(石川水協)	1:16.4
B	1	田 中 今 吉	(三水會)	1:15.0
	2	倉 橋 範 彦	(濱松西高)	1:15.4
	3	大 古 敬 宣	(白門水)	1:17.2
C	1	藤 井 敬 次 郎	(橫濱ゴム)	1:12.2
	2	榎 谷 周 二	(櫻泳會)	1:13.4
	3	信 定 英 雄	(聖ポール)	1:18.6
D	1	中 島 雅 好	(傳習館)	1:15.0
	2	赤 檉 卓 爾	(三水會)	1:16.0
	3	杉 村 了	(櫻泳會)	1:16.0
E	1	黑 佐 年 明	(八幡製鐵)	1:14.0
	2	正 村 孝 司	(稻泳會)	1:15.2
	3	宮 部 修	(伊東高)	1:15.8
F	1	木 部 俊 之	(伊東組)	1:14.2
	2	白 井 孝	(三水會)	1:14.8
	3	西 野 恭 正	(櫻泳會)	1:14.8

準 決 勝

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	藤 岡 達 昂	(稻泳會)	1:15.0
	2	竹 林 地 文 雄	(明 大)	1:15.4
	3	山 田 芳 美	(聖ポール)	1:16.4
	4	宇 田 久 壽 秀	(櫻泳會)	1:16.4
B	1	安 東 昭 次 郎	(櫻泳會)	1:14.2
	2	杉 山 祐 二	(聖ポール)	1:18.2
	3	吉 永 清	(三水會)	1:18.2
	4	關 根 善 次 郎	(稻泳會)	1:18.4

決 勝

順位	氏 名	所 屬	時 間
1	藤 岡 達 昂	(稻泳會)	1:13.8
2	安 東 昭 次 郎	(櫻泳會)	1:15.4
3	竹 林 地 文 雄	(明 大)	1:16.2
4	吉 永 清	(三水會)	1:16.6
5	山 田 芳 美	(聖ポール)	1:16.9
6	宇 田 久 壽 秀	(櫻泳會)	1:17.4

200 米 平 泳

豫 選

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	竹 林 地 文 雄	(明 大)	2:49.8
	2	安 東 昭 次 郎	(櫻泳會)	2:51.6
	3	野 網 英 一	(櫻泳會)	3:07.2

決 勝		氏 名	所 屬	時 間
1	山 本 速 水	(關西學)	1:11.0	
2	待 鳥 啓 三	(稻泳會)	1:11.8	
3	黑 佐 年 明	(八幡製鐵)	1:12.4	
4	木 部 俊 之	(伊東組)	1:13.6	
5	藤 井 敬 次 郎	(橫濱ゴム)	1:14.4	
6	榎 谷 周 二	(櫻泳會)	1:14.4	

B	1	杉山祐二	(聖ポール)	2:50.2
	2	清水敏夫	(三水會)	2:53.8
	3	萩原孝男	(櫻泳會)	2:55.0
C	1	關根善次郎	(稻泳會)	2:48.6
	2	山田芳美	(聖ポール)	2:56.4
	3	鍛治友康	(同志社大)	3:01.4
D	1	宮澤正夫	(稻泳會)	2:55.2
	2	五味茂夫	(櫻泳會)	2:56.4
	3	折井孝一郎	(三水會)	2:57.8
E	1	坂本幸男	(關西學)	2:54.8
	2	下坂篤	(櫻泳會)	2:55.8
	3	藤岡達昂	(稻泳會)	2:57.8
F	1	宇田久壽秀	(櫻泳會)	2:48.6
	2	原茂樹	(聖ポール)	2:58.8
	3	齋藤利一	(沼津東高)	3:05.6

準 決 勝

A	1	竹林地文雄	(明大)	2:46.8
	2	關根善次郎	(稻泳會)	2:48.2
	3	安東昭次郎	(櫻泳會)	2:50.0
	4	宮澤正夫	(稻泳會)	2:51.4
	5	山田芳美	(聖ポール)	2:52.4
B	1	宇田久壽秀	(櫻泳會)	2:46.4
	2	杉山祐二	(聖ポール)	2:50.4
	3	清水敏夫	(三水會)	2:51.2
	4	下坂篤	(櫻泳會)	2:51.4
	5	萩原孝男	(櫻泳會)	2:54.4

決 勝

1	宇田久壽秀	(櫻泳會)	2:46.8
2	竹林地文雄	(明大)	2:48.4
3	安東昭次郎	(櫻泳會)	2:50.0
4	關根善次郎	(稻泳會)	2:50.4
5	杉山祐二	(聖ポール)	2:50.4
6	下坂篤	(櫻泳會)	2:51.0

女 子 競 泳

50 米 自 由 形

豫 選

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	青木照子	(伊東水協)	35.6
	2	高橋美恵子	(都四高)	35.8
	3	山下絢子	(多賀水協)	36.4
	4	加藤登志子	(水戸二高)	38.2
B	1	山下さだ子	(五條高)	35.2
	2	宮脇延子	(西京高)	36.0
	3	外村眞基子	(堀川高)	37.4

4	山上喜美子	(石川水協)	39.0	
C	1	坂口文子	(野原中俱)	35.4
	2	太田教子	(都四高)	36.6
	3	蜂屋信子	(都今川高)	38.2
	4	石田和子	(紅葉川高)	38.4
D	1	牧尾啓代	(美作高)	35.2
	2	新井恵子	(川西機械)	36.6

準 決 勝

A	1	山下さだ子	(五條高)	34.2
	2	青木照子	(伊東水協)	35.2
	3	太田教子	(都四高)	36.0
	4	宮脇延子	(西京高)	36.8
B	1	牧尾啓代	(美作高)	35.2
	2	坂口文子	(野原中俱)	35.6
	3	高橋美恵子	(都四高)	35.8
	4	新井恵子	(川西機械)	36.0

決 勝

1	山下さだ子	(五條高)	34.2
2	牧尾啓代	(美作高)	34.0
3	坂口文子	(野原中俱)	35.0
4	青木照子	(伊東水協)	35.0
5	高橋美恵子	(都四高)	35.2
6	太田教子	(都四高)	36.0

100 米 自 由 形

豫 選

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	坂口文子	(野原中俱)	1:20.6
	2	高橋美恵子	(都四高)	1:24.2
	3	青木照子	(伊東水協)	1:24.2
B	1	宮脇延子	(西京高)	1:20.4
	2	青木暉子	(朱雀高)	1:22.4
	3	飛田則子	(水戸二高)	1:28.8
C	1	山下さだ子	(五條高)	1:18.4
	2	牧尾啓代	(美作高)	1:22.8
	3	山口尚子	(相愛女專)	1:25.2
D	1	太田教子	(都四高)	1:20.8
	2	山下絢子	(多賀水協)	1:22.4
	3	蜂屋信子	(今川高)	1:25.0
E	1	新子富子	(五條高)	1:19.2
	2	新井恵子	(川西機械)	1:20.8
	3	外村眞基子	(堀川高)	1:26.6

準 決 勝

A	1	山下さだ子	(五條高)	1:18.8
---	---	-------	-------	--------

	2	新井 惠子	(川西機械)	1:21.0
	3	牧尾 啓代	(美作高)	1:22.2
B	1.	新子 富子	(五條高)	1:19.2
	2	太田 教子	(都四高)	1:19.8
	3	青木 暉子	(朱雀高)	1:20.2

決 勝

	1	山下 さだ子	(五條高)	1:19.0
	2	太田 教子	(都四高)	1:19.0
	3	新子 富子	(五條高)	1:19.4
	4	青木 暉子	(朱雀高)	1:20.0
	5	牧尾 啓代	(美作高)	1:21.0
	6	新井 惠子	(川西機械)	1:21.8

200 米 自 由 形

豫 選

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	新子 富子	(五條高)	3:00.8
	2	安倍 佐和子	(伊東高)	3:01.0
	3	田邊 和子	(都四高)	3:02.8
	4	小瀧 法子	(安房高)	3:14.6
B	1	森 あき子	(伊東高)	2:51.0
	2	塚本 千賀子	(都四高)	2:53.4
	3	江濱 敦子	(筑紫高)	3:00.8
	4	青木 暉子	(朱雀高)	3:15.6

決 勝

	1	森 あき子	(伊東高)	2:49.0
	2	塚本 千賀子	(都四高)	2:53.2
	3	安倍 佐和子	(伊東高)	2:54.6
	4	新子 富子	(五條高)	2:57.0
	5	江濱 敦子	(筑紫高)	2:58.6
	6	青木 暉子	(朱雀高)	2:58.6

400 米 自 由 形

決 勝

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
	1	森 あき子	(伊東高)	5:58.2
	2	安倍 佐和子	(伊東高)	6:04.6
	3	塚本 千賀子	(都四高)	6:13.0
	4	江濱 敦子	(筑紫高)	6:19.2
	5	田邊 和子	(都四高)	6:17.4
	6	白井 裕子	(松蔭中俱)	6:53.6

50 米 背 泳

豫 選

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	佐竹 富美子	(東洋人絹)	41.4
	2	小椋 とし子	(東京成徳)	43.0
	3	片岡 澄子	(五條高)	43.2
	4	石井 喜美子	(伊東高)	47.0
B	1	佐藤 喜美子	(大丸京都)	40.8
	2	野口 幸子	(相愛女専)	41.6
	3	保見 紀子	(武藏高)	45.2
	4	和仁 智恵子	(美作高)	46.4
C	1	小椋 とみ子	(東京成徳)	40.0
	2	山田 喜代江	(大丸京都)	43.8
	3	河村 遊津美	(鴨沂高)	44.8
	4	小川 和彌	(彦根高)	45.0
D	1	三浦 秀	(都四高俱)	40.8
	2	可兒 令子	(松蔭高)	41.6
	3	前原 トモエ	(筑紫高)	43.0
	4	庄司 米子	(安房高)	48.6

準 決 勝

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	佐藤 喜美子	(大丸京都)	41.2
	2	佐竹 富美子	(東洋人絹)	41.2
	3	小椋 とし子	(東京成高)	41.4
	4	可兒 令子	(松蔭高)	42.0
B	1	小椋 とみ子	(東京成徳)	39.2
	2	三浦 秀	(都四高俱)	40.8
	3	野口 幸子	(相愛女専)	41.2
	4	前原 トモエ	(筑紫高)	43.4

決 勝

	1	小椋 とみ子	(東京成徳)	38.8
	2	三浦 秀	(都四高俱)	40.0
	3	野口 幸子	(相愛女専)	40.2
	4	佐藤 喜美子	(大丸京都)	40.8
	5	佐竹 富美子	(東洋人絹)	41.0
	6	小椋 とし子	(東京成徳)	41.4

100 米 背 泳

豫 選

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	野口 幸子	(相愛女専)	1:30.6
	2	三浦 秀	(都四高俱)	1:31.0
	3	保見 紀子	(武藏高)	1:40.2
	4	小川 和彌	(彦根高)	1:41.0
B	1	小椋 とみ子	(東京成徳)	1:27.8
	2	可兒 令子	(松蔭高)	1:31.8
	3	佐竹 富美子	(東洋人絹)	1:33.6
	4	太田 攝子	(伊東高)	1:38.4
C	1	佐藤 喜美子	(大丸京都)	1:29.4

	2	前原トモエ	(筑紫女高)	1:33.8
	3	小椋とし子	(東京成徳)	1:35.2
	4	竹内妙子	(松蔭高)	1:41.8
D	1	片岡澄子	(五條高)	1:33.8
	2	山田喜代江	(大丸京都)	1:35.2
	3	河村遊津美	(鴨沂高)	1:37.0
	4	和仁智恵子	(美作高)	1:43.0

準 決 勝

A	1	小椋とみ子	(東京成徳)	1:27.0
	2	野口幸子	(相愛女専)	1:29.2
	3	可兒令子	(松蔭高)	1:30.0
	4	小椋とし子	(東京成徳)	1:34.8
B	1	佐藤喜美子	(大丸京都)	1:28.8
	2	三浦秀	(都四高俱)	1:29.4
	3	佐竹富美子	(東洋人絹)	1:31.0
	4	片岡澄子	(五條高)	1:33.0

決 勝

	1	小椋とみ子	(東京成徳)	1:27.4
	2	三浦秀	(都四高俱)	1:27.4
	3	野口幸子	(相愛女専)	1:28.8
	4	可兒令子	(松蔭高)	1:29.6
	5	佐藤喜美子	(大丸京都)	1:30.4
	6	佐竹富美子	(東洋人絹)	1:30.6

100 米 平 泳

豫 選

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	高野博子	(伏見高)	1:37.8
	2	木梨あさ	(伊東高)	1:40.6
	3	二宮正子	(都一高)	1:45.0
	4	相澤弘子	(横濱一女)	1:47.0
B	1	大石康子	(山城高)	1:32.2
	2	福井榮	(松蔭中俱)	1:33.8
	3	大野敦子	(都四高)	1:37.2
	4	立花文子	(成城高)	1:42.6
C	1	井原佳子	(伊東高)	1:41.6
	2	根本智子	(水戸三高)	1:55.2
	3	菅操子	(港川高)	
	4	小倉正江	(東京成徳)	
D	1	壘谷良子	(武庫川高)	1:32.4
	2	茅川順子	(松蔭高)	1:38.8
	3	川島善子	(横濱二高)	1:43.0
	4	鳥井きよ子	(伊東高)	1:43.4

準 決 勝

A	1	大石康子	(山城高)	1:33.4
	2	福井榮	(松蔭中俱)	1:33.4
	3	高野博子	(伏見高)	1:37.4
	4	菅操子	(港川高)	1:37.8
B	1	壘谷良子	(武庫川高)	1:33.4
	2	大野敦子	(都四高)	1:36.2
	3	茅川順子	(松蔭高)	1:38.4
	4	立花文子	(成城高)	1:40.4

決 勝

	1	大石康子	(山城高)	1:31.4
	2	壘谷良子	(武庫川高)	1:33.2
	3	福井榮	(松蔭中俱)	1:33.4
	4	大野敦子	(都四高)	1:36.2
	5	菅操子	(港川高)	1:37.8
	6	茅川順子	(松蔭高)	1:38.2

200 米 平 泳

豫 選

組	順位	氏 名	所 屬	時 間
A	1	福井榮	(松蔭中俱)	3:21.0
	2	大野敦子	(都四高)	3:23.4
	3	鳥居きよ子	(伊東高)	3:43.8
	4	松浦一子	(濱松中俱)	3:52.8
B	1	大石康子	(山城高)	3:21.8
	2	木梨あさ	(伊東高)	3:33.8
	3	田中定子	(美作高)	3:47.2
	4	三枝桃子	(東京成徳)	3:52.4
C	1	高野博子	(伏見高)	3:24.0
	2	井原佳子	(伊東高)	3:35.0
	3	二宮正子	(都一高)	3:43.8
	4	北浦幸子	(大丸京都)	3:44.8
D	1	壘谷良子	(武庫川高)	3:15.2
	2	茅川順子	(松蔭高)	3:26.8
	3	菅操子	(港川高)	3:35.0
	4	立花文子	(成城高)	3:37.4

準 決 勝

A	1	福井榮	(松蔭中俱)	3:17.6
	2	大野敦子	(都四高)	3:23.4
	3	茅川順子	(松蔭高)	3:25.8
	4	菅操子	(港川高)	3:30.0
	5	立花文子	(成城高)	3:36.4
B	1	大石康子	(山城高)	3:19.0
	2	壘谷良子	(武庫川高)	3:21.0
	3	高野博子	(伏見高)	3:26.8
	4	井原佳子	(伊東高)	3:31.8

5	木梨あさ	(伊東高)	3:32.4
決勝			
1	大石康子	(山城高)	3:17.2
2	福井榮	(松蔭中俱)	3:17.8
3	壘谷良子	(武庫川高)	3:18.6
4	大野敦子	(都四高)	3:20.4
5	茅川順子	(松蔭高)	3:25.2
6	高野博子	(伏見高)	3:26.0

飛込競技の部

7月22日(東伏見)

男子飛板飛込

順位	氏名	所屬	点数
1	毛利勝一	(櫻泳會)	132.94
2	高濱武	(磯部建設)	126.40
3	久保欣治	(無所屬)	104.32
4	森澤厚	(三水會)	100.32
5	馬場貞之	(神戸高)	96.30
6	伊藤貞之	()	95.00

女子飛板飛込

1	坂口修子	(松蔭高)	67.76
2	福松敏子	(千葉水連)	61.60
3	後藤美智子	(松蔭高)	58.69
4	木村富子	()	54.42

男子高飛込

1	久保欣治	(無所屬)	89.94
2	萩原甫	(櫻泳會)	86.74
3	高濱武	(磯部建設)	86.52
4	毛利勝一	(櫻泳會)	82.12
5	森澤厚	(三水會)	77.45
6	高田弘一	(櫻泳會)	77.12

女子高飛込

1	佐藤美智子	(S H C)	49.96
2	福松敏子	(千葉水連)	33.45
3	木村富子	(松蔭高)	29.90

全日本選手権大會 水球 評

大原胤政

近水クの三連覇は殊にクラブチームであるだけ偉とするに足る。本年度は舊規則に代つて南米規則が I.W.B に依つて試験的に採用され各チーム共この規則をこなさず何れも苦勞している様であつた。従つて戦前ではどのチームが覇權を握るか全く豫想がたたず、それだけに興味は深かつた。近水クはその中でもチームとして實力を有し又メンバー個々も平均して優れてをつたので比較的順當に勝ち進んで行つた。が何といつても現規則による公式試合をしてをらぬ爲始めは勝手がわからず慶應 B に五對一という拙戦をしたがその後準決勝で慶應 A を六對〇、決勝で早大を五對二で破つて制覇を遂げた。FW 松本兄弟、藤垣 H.B. 奥田 F.B. 黒田、鹽川 G.K. 葉室とならんだセヴンは鹽川にゲームの運びに若さを懸念されるのみで堂々たるメンバーである。しかし決勝の前半自陣ゴール前に備えすぎて中盤藤垣までがまき込まれていたのは自ら得點力を減殺したものであつた。現規則の要點は大いに機動性を發揮させるのだから攻撃こそ最大の防禦なのである。二位の早大は準々決勝の對立命戦がヤマであつ

た。前半二對四とリードされていたのを後半立ち上りに三點を返してリードを奪い再び同點にされたのを谷合決勝の一點をあげ六對五と押し切つたのは美事であつた。その餘勢をかつて準決勝に三水會を五對三とうちとめ決勝に臨んだのであつたが全得點十三點の内安藤一人で十點あげている得點力では近水の如き F.W. 各人が何れも得點力を持つたチームに對して勝を譲るのは當然であろう。だが春の不振をこの全日本にかけて堂々と決勝にまで持ち込んだのは傳統の早稻田精神のなせる所で、藤岡、谷合、安藤と貫いた一線には次代の水球に大いに期待を抱かせるものがある。しかしまだ何といつても未知數である。今後の精進を祈つてやまない。三位の慶應 A は中盤の動きが不徹底であつた爲準決勝で近水クに敗れてしまつた。小粒の F.W. を充分に働かせる爲には中盤がもつと積極的に突つ込まなくてはならないのが自陣ゴール前の不安から突つ込みが足りず中途半端に止まつて得點機を逸していた。攻守の中心をなすべき鶴岡が全く生彩を缺いていたのでは優勝から見離されても仕方あるまい。殊に攻められてはゴ

ール前全員がただ無爲に相對しているのでは何にもなるまい。このチームは球に對する執着を近水クから早大から學ぶべきである。三水會が準々決勝で櫻泳會を破つたのは美事であつた。何れが當つても戦い難い櫻泳會を三水會は六對三でうちとめたが好調と見たにもかかわらず準決勝で早大に始終リードされて敗れ去つた。準決勝の逸勝は一にボンヘッドという外はない。前日櫻泳會濱口を攻略したそのまま和田は完全にポケットされ加えるにパスの不正確、泳ぎの不足はこのチームの悪い面が全部さらけ出された様な試合振りであつた。三水會のとるゾーン防禦はとめた一點が直ちに味方の得點とならなければ意味をなさず、ゾーンが却つて重荷となつた感がなくもない。しかし何れにせよ近水葉室を除いてG.K.らしいG.K.のいなかつたという事は情けない限りであつた。次のオリンピックを控えてG.K.の養成は大きな課題の一であろう。稻泳會はF.W.に小野、小柳、渡邊と曲者を揃え乍らあつけなく敗退したのは練習不足の故であろう。國體東西對抗を前にして三水會と共に大いに奮起されん事を望んでやまない。櫻泳會は濱口の獨り角力ではどうにもならぬと覺つたであろう。だがやはり水球には水球としての基礎練習があり之を積み重ねてゆく事に依つて眞の實力が養われるという簡単な公理を無視する事は出來ないのである。立命館はメンバーが前年度と變りなく江口以下粒の揃つたいチームであつた。早大にリードし乍ら惜敗したが關東リーグに入れて各校ともませてみたい様なチームで、やはり現規則に慣れないのと動きが素直なため決定的な所がなかつた慶應Bが福水クを五對一と破り近水クに一對五と敗れたのは當然とはいいい乍ら天晴であつた。高校生を中心とした二十歳前の若少チームで近水クに對し僅か四點の差でしかも一點を得ているのだから褒賞ものである。だが水球は一年二年でマスター出來るものではない。近水クの各人は少くとも十年以上たたきにたたかれてあれだけの技術を身につけたのだ。この成績におごらず更に更に精進あらん事を望む。福水ク、靜水クは共に地方に居る爲現規則に全然慣れず自滅してしまつた。現規則は今年各國で行つた結果の答申をまつてこの八月ローマで開かれるI.W.B.に依つて決定され、それが一九五〇年からの新規

則となる模様である。新規則が舊に復するか、現規則に近いものか、更に又變るか、豫斷を許さないが、とにかく現規則に左程遠いものとは思はれない。この意味に於て全日本を通じて各チームに望む事はチームワークの完成の前に先づ個々の基礎技術を完成せよという事である。出場チームの大部分に對して先づ振り出しに戻つて水球の基礎のイロハから始められん事を望む次第である。

水球競技成績之部

第一回戦 7月21日(東伏見)

慶應義塾B組 5 $\begin{pmatrix} 3 & - & 1 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 福岡水泳クラブ

(審判 澤海)

三田水泳會 11 $\begin{pmatrix} 6 & - & 1 \\ 5 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 靜水會

(審判 澤海)

第二回戦 7月22日(東伏見)

近畿水泳クラブ 5 $\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 慶應義塾B組

(審判 澤海)

慶應義塾A組 6 $\begin{pmatrix} 3 & - & 1 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 稻泳會

(審判 和田)

早稻田大學 6 $\begin{pmatrix} 2 & - & 4 \\ 4 & - & 1 \end{pmatrix}$ 5 立命館大學

(審判 藤田)

三田水泳會 6 $\begin{pmatrix} 4 & - & 2 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 3 櫻泳會

(審判 小野)

準決勝 7月23日(神宮)

近畿水泳クラブ 6 $\begin{pmatrix} 4 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 慶應義塾A組

(審判 藤田)

早稻田大學 5 $\begin{pmatrix} 2 & - & 1 \\ 3 & - & 2 \end{pmatrix}$ 3 三田水泳會

(審判 澤海)

三位決定戦 7月24日(神宮)

慶應義塾A組 5 $\begin{pmatrix} 2 & - & 2 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix}$ 2 三田水泳會

(審判 澤海)

優勝戦

近畿水泳クラブ 5 $\begin{pmatrix} 3 & - & 1 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 早稻田大學

(審判 藤田)

定例代議員會議事録 (7月23日)

(於岸記念體育館)

出席者

本部

田畑政治
齋藤武五郎
川田友之
内藤徹
野口徳子

藤田明
野田一雄
河津憲太郎
澤海東助
伊東ヒデ子

原秀夫
磯野百男
牧野正藏
千田静三郎

學生部會

小池禮三
岩野浩
梅原甲子雄
駒村太郎

石田恒信
清川泰雄
藤町欣二
松川富嘉

古橋条司
津村弘光
島田博

北海道水泳連盟

根上博

秋田縣水泳連盟

内館洋

宮城水泳協會

針生三郎

福島縣水泳連盟

吉田勝平

茨城縣水泳連盟

鈴木充

群馬縣水泳連盟

笹島彦次郎

栃木縣水泳協會

萩原光臣

千葉縣水泳連盟

中島格五郎

東京都水泳協會

伊藤謹平

神奈川縣水泳連盟

白山源三郎

野尻湖游泳協會

萩原忠明

高橋庄之助

新潟縣水泳協會

中静文一

松本水泳協會

小林高志

山梨水泳連盟

石澤羊一

伊豆駿河灣游泳協會

井原一夫

静岡水泳協會

宮崎正二

宮崎安之助

濱名灣游泳協會

箕精一郎

豊橋水泳協會

小幡令二

愛知水泳連盟

兒玉清雄

志村義久

福井縣水泳連盟

保井亮

三重水泳連盟

田村正衛

奈良縣水泳連盟

神崎保雄

和歌山縣水泳連盟

西本龍三

兵庫縣水泳連盟

野村弘

琵琶湖水泳協會

岡山四郎

廣島縣水泳連盟

高橋弘

田中武雄
石井辰五郎
西本秀雄
河野善次
北村博三郎

横山傳
小倉一浩

近藤進

武内孝雄
天野重朗
杉田芳郎

楠田豊茂

桑原敏男

串田正夫

鎌田壽夫 小早川元次郎

愛媛縣水泳連盟

深谷俊明

香川縣水泳連盟

遊佐正憲

福岡縣水泳連盟

松本隆重

田口實

森原幸彦

安永弘

長崎水上競技連盟

小林高志

一、藤田専務理事開會の挨拶

二、報告事項

1. 田畑會長より

○F.I.N.A. 復歸の件

六月十五日附で F.I.N.A. 復歸になるまでの詳細な説明があり、同日以降の記録は申請によつて認められることになり今後三週間以内に報告する必要があるから加盟團體から本部に報告する様に要請、尙六月十四日以前の記録は認められないことになつた(詳細は巻頭の F.I.N.A. 復歸正文の翻譯を参照せられたい)

○清川ヘッドコーチ渡米の件

豫ねてより申請中の渡米の件正式許可が下り、7月10日空路出發した。又渡米選手團が決定すれば之の正式コーチ並びにマネージャーとなることを報告

○選手權期日變更の件

○日本選手渡米の件

日本選手渡米に伴い選手權期日を變更しなければならなかつたことを説明、(この件については理事會に於て事後承認した)了承を求めた。渡米に関しては七月十五日附フェリスから正式の招待狀が來た。(この時人數に關して疑義があつたが後に發表の如く選手六名ということになつた)

2. 日本高校選手權大會に關する件(關西支部)

準備狀況の説明あり特に宿舍に(高校野球と重なる爲)相當の難點と苦心のあることを説明、西本評議員より高松宮同妃兩殿下の台臨されることについて報告

3. 男子高校東西對抗の件(愛知)

準備について説明

4. 女子高校東西對抗の件(神奈川)

8月25日野毛山プールで行うことを説明

5. 國民體育大會の件(神奈川)

準備状況を説明、参加要綱パンフレット配布

6. 指導者講習會、検査試験の件

關東は西本理事より7月6日—10日實施した旨關西は石田理事より夫々報告あり
各加盟團體より指導者の資格をゆるめて各地方の實情に即應するいはローカル指導者の様なもの、設立を要望、研究すること

7. プール公認證作成の件

深谷理事より公認證を作成した旨及び今後は手数料として1,000圓の公認料を取る事を承認

8. 雜件(藤田専務理事)

- 末弘前會長還曆式 7月22日神宮プールで行う
- 杉本顧問の 〃 8月19日甲子園 〃 〃
- 女子水泳着の滞貨をさばく爲重ねて懇請
- 「水泳」第二號九月下旬刊行普通號は四〇圓位にし各加盟團體の積極的消化を要望
- 各加盟團體のスケジュールを5月一杯に提出する様要望
晝食、休憩

三、役員選舉の件

藤田専務理事より本年を以て會長、専務理事の任期満了につき選任の方法を諮る
小林榮三評議員より田畑會長以外には現在の重大時期を乗り切り難いこと及び専務理事は新會長に一任すべきことを提案、満場拍手を以て承認、會長重任と決定

會長挨拶 水泳の全國的及び國際的地位にかんがみその責任と抱負を披歴、具體的には高校の強化の線に進みたい旨を述べ

次で専務理事には藤田氏の重任を求め、決定す。

藤田専務理事より役員として新たに

名譽主事に阿部輝太郎氏

評議員に中村光一氏

渉外顧問に松本瀧藏氏

の三氏を議場に諮り満場一致承認

四、其他

1. 關西支部役員決定の件

前會の議事に従い専務理事より高石支部長以下の役員決定の報告

2. 福井水連加盟の件

承認(但し水連の他の競技に對する立場を徹底させる事)

3. 加盟團體より

○吳市のプール視察の件 10月頃理事會に於て定める

○白山氏より國體に關して補足宿泊料は大體400圓位

○會長より次の國體競技より今迄の社會人對學生に高校を加え、社會人學生高校の三部對抗にする件を提案——理事會一任とする

以上

第21回早慶對抗水上競技大會

根 上 博

日本水泳界が各種競技團にさきがけ終戦後の復興目覺しきものがあり昭和24年度は國際競技連盟への復歸の期待やら對外試合の期待に更に一段の躍進を目指し冬季より連盟の力の入れ方も大變なものであつたがこの24年度レース劈頭を飾る早慶對水上競技大會は6月5日東伏見早大プールで開催された。氣温27度水温21度半、シーズン日なお浅いこの時期としては比較的恵まれたコンディションで兩軍の精鋭を選りすぐつて行われた、兩軍共、卒業等による痛手は割合と少くむしろ優秀な新人を得て共にあたる可からざる意氣があがり熱戦が期待された。兩軍の入場式次いで先づ400米自由型より競技

は開始された。

早の藤野、田中(新人)慶の杉浦(新人)の争ひと見られたが早の藤野、田中は共に昨夏以來古橋、橋爪に次ぐものとして屬望された、長距離日本のホープであり、兩者の競り合に杉浦が如何に追撃するかに興味がかけられてスタートした、田中先づ100米のラップを取り藤野、杉浦これに續き200米にかゝるや藤野僅かに田中を抜いて先行しこの儘の體勢で雁行、350米に至る、藤野この儘流れ込むかと思わせたが田中のラストスパート物凄く藤野を抜き切つて先着4分54秒8藤野4分56秒は共にシーズン初めのこの時期の記録としては立派なものであつ

た、慶の新人杉浦もよく頑張つて 5 分 4 秒は善戦を物語るものであり今後の期待をされる一人であり田中、藤野は共に牧野先輩のコーチを受け同氏の泳法に非常に似て居る様だが未だ軽いピッチで泳ぎ得ないのは進歩の途上にある両君の爲め惜まれる。共に體格も牧野先輩に近似しているし腕の使い方に同氏のコツを得れば今夏の活躍は十分期待されるし今後の練習に工夫を望みたい。200 米平泳昨年同僚の匠選手に押えられ兎角芽の出なかつた關根が異常な元氣振りでピッチの上る泳ぎで頑張り慶の新人清水と大接戦の上これを押え 2 分 50 秒 8 は偉かつた、大會前評判の慶の新人清水は往年の平泳界の第一人者小池先輩を思わせる泳法で關根をおびやかしかわや先着と思わせたがまづいタッチで 51 秒は大いに惜まれる、共に不振の平泳界に光明を與えるものとして今夏が期待される。早の宮澤は昔年の元氣には未だ間がある様だが 52 秒 8 で三着は一應回復を思わせるものがあり今後の努力が楽しめる、400 米に引續いての大接戦のレースも特に清水のまづいタッチが目立つたが今後小池先輩に次ぐ大選手となるために一層慎重にレースをしなければ同氏の如き大記録は望めない、好漢大いに自重されん事を望む。

100 米自由型 ベテラン村山は作戦上この種目に出て、慶の上杉との對戦に興味をわかせたがさすがはベテラン軽く上杉を押へて樂勝したのは實力の相違か 1 分 1 秒は中距離泳者としての同君としてはこの時期に於ては優秀なものであり今夏同君の中距離に活躍する際の出足と見る可きか。

上杉、柳本よく村山を追つたが 100 米に見られる熱戦はなく上杉の二着、柳本の三着に終つた、慶の白井は最下位に甘んじ泳法にも生彩を缺き不調であるのは同君のため惜まれる、旺盛な闘志と泳法にも一工夫すれば短距離泳者として十分素質もあると思われるだけ今後の努力が望ましい。

100 米背泳 早の待鳥の病氣による缺場は早にとつて痛手で慶の赤樫、一人舞臺の感があつたが新人田中の意外の健闘は赤樫にタッチの差迄迫り見るものを緊張させた。共に 1 分 14 秒 2 は今夏特に田中君の活躍に興味を掛けられる、日本水泳界にとつて平泳と共に西野(日大)の卒業後はこの種目に傑出したものなしで特に往年この種目は早慶の兒島、

吉田兩雄の毎度の激戦を想起するとき再び兩校より優秀選手の輩出を見て激戦を展開して欲しい、この點田中君の今後の精進と一層の努力を期待したい。

200 米自由型 村山、上杉、柳本と 100 米自由型の再現で 1 分 1 秒の村山が昨秋のインターカレッジに優勝したレース振りより大いに期待を持たれたがタイム的にも練習不足か、見る可きものもなく村山に迫つた柳本の躍進が注目されただけであつた。上杉もよく頑張つたが柳本に僅かに遅れ三着であつた。

1500 米自由型 藤野、田中、杉浦と 400 米自由型と同じ顔振れであつたが長い距離だけに三者の競合に異質な變化が現われるのではないかと樂しまれた。400 米自由型に惜敗した藤野は面目にかけてか奮起最初より飛び出し 400 米で田中を 6 秒と離し田中に杉浦が續いた、藤野更に輕快に突進し 800 米では依然 6 秒と田中の猛進をしりぞけていたがこの頃より輕快な調子がくずれて來た様に思えたが田中の追撃をしりぞけられず徐々にその差を縮められついに 1200 米で平行し藤野、田中、杉浦の雁行はくづれ、その後は田中の輕快なピッチは刻々藤野を放してついにゴールイン 19 分 56 秒藤野は 59 秒と共に 19 分臺を記録した事は優秀な成績という可きである。特に田中のかん急自在の輕いピッチはラストに目立つて強く藤野の及ばないところであり藤野も同君を相手に今夏は共に長距離に好成績を収める事を豫想される。杉浦も善闘したが未だの感があつた。

800 米リレー は田中、藤野、柳本、村山に松岡、杉浦、小池、上杉の對戦であつたが田中好調を利して 2 分 17 秒 6 と慶の松岡を大きく放して早の一方的レースになり 25 米の大差を以て早の樂勝するところとなつた。

こゝに全種目熱戦裡に終了したが結局得點では早の 27 點、慶の 12 點と慶の善戦の豫想に反しての慘敗であつたが、兩軍共に新人の活躍が目立つており特に早の田中はすでに長距離選手として古橋に次ぐものの第一人者であり新人とはいえないが、むしろ慶の田中、清水、杉浦早の長澤等の躍進は注目に値いするものがある、特に清水は小池先輩の推賞する一人で今夏の活躍が大いに期待される。

第21回早慶對抗水上競技大會

6月5日 明治神宮プール (50米) 公認 (気温 27°) (水温 21.5°)

100米 自由形

1	村山修一	(早)	1:01.6
2	上杉猛	(慶)	1:02.6
3	柳本隆	(早)	1:03.2
4	谷合繁男	(早)	1:03.6
5	小池哲夫	(慶)	(1:03.6)
6	白井孝	(慶)	(1:03.6)

200米 自由形

1	村山修一	(早)	2:19.2
2	柳本隆	(早)	2:20.2
3	上杉猛	(慶)	2:21.6
4	小池哲夫	(慶)	2:24.4
5	浪花欣吾	(早)	(2:26.8)
6	白井孝	(慶)	(2:27.8)

400米 自由形

1	田中純夫	(早)	4:55.8
2	藤野健三	(早)	4:56.8
3	杉浦貞夫	(慶)	5:04.8
4	江崎秋夫	(早)	5:07.6
5	松岡信義	(慶)	(5:07.8)
6	杉本弘	(慶)	(5:15.6)

1500米 自由形

1	田中純夫	(早)	19:56.4
2	藤野健三	(早)	19:57.8
3	杉浦貞夫	(慶)	20:38.2
4	松岡信義	(慶)	20:43.6

5 長澤二郎 (早) (20:48.3)

6 高橋武夫 (慶) (21:23.8)

100米 背泳

1 赤樫卓爾 (慶) 1:14.2

2 田中令吉 (慶) 1:14.2

3 足立行敏 (早) 1:15.6

4 正村孝司 (早) 1:17.0

5 芦澤哲男 (早) (1:18.4)

6 板倉友吉 (慶) (1:19.4)

200米 平泳

1 關根善次郎 (早) 2:50.8

2 清水敏夫 (慶) 2:51.0

3 宮澤正夫 (早) 2:52.8

4 折井孝一郎 (慶) 3:02.2

5 吉原亨 (慶) (3:02.4)

6 柳本種男 (早) (3:10.4)

800米 リレー

1 田中、藤野、野山 (早) 9:21.0

2 松岡、杉浦、小池、上杉 (慶) 9:37.4

得点

早大 27

慶大 12

第14回三大學對抗水上競技大會

松 澤 一 鶴

今年の三大學對抗競技會は第十四回を數えて、六月十四日、夜間競技として明治神宮プールで開催された。昨年に引續き調子がよいと評判せられ、しかもシーズンの始めに神宮プールに於て舉行される唯一のものであつただけに、さしもの大競技場も超満員の觀衆に埋められ、寧ろ無統制に近いまでに入場して周圍の樹木が鈴成りの有様は、このプールで行

はれた競技會としては珍らしい風景でさえあつた。結果は豫期されたように一方的のものであつて、日大 96, 明大 35, 立大 19 と大きな開きで、對校競技としての興味は全く問題外となり、強大なる日大チームの御手の内拜見と云ふ所であつて、ただ僅か久しく沈滞をかこたれていた明大が元氣を見せてくれたのが、この秋の學生大會に何等かの色を添える



800 米自由型 古橋選手のゴール

であろうと楽しみを思はせたのみであつた。大會の氣分は古橋、橋爪等の出來榮えを見守る日本的の雰圍氣の裡に大きな興奮を起し、シーズンとしては日尙初め乍らビッグゲームであつたことは間違はなかつた。

しかしそれだけに泳ぐものに對して一般のファン達の希望的な期待は過大——と云うより苛酷でさえあつたと感じた。スポーツマンの心持は毎回のオリンピック大會標語に於けるが如く「より速く、より高く、より強く」に依つて適確に表現されているとは云え、昨年最良タイムをこのシーズンに入つて一ヶ月たつたか、ぬにもう破つてくれぬであらうかと期待するファンのおねだり心は——實は筆者もその一人でなかつたとは云わぬが——何としても過當なものであつたことは確かだ。それは古橋(日)が番組第二の八百米自由形で 9 分 41 秒 6 の大記録を尻上りのピッチで出してくれたのではあつたが、それが米國のスミス作る所の世界記録 9 分 50 秒 9 を破つて立派な世界新記録であるにも不拘、昨年彼がインタカレヂで出した 9 分 41 秒 0 に 0.6 秒に及ばなかつた嘆は神宮プールの水面を大きなため息で曇らし、拍手をすらく送り得なかつたことで證明される。本來ならば昨年力量にまで恢復したことを喜んでいなければならぬ時期であるのに、水泳ファンというものはあるしよく種々のことを知り過ぎていてだけに度し難き所もある。

全くよく知つて居ると云う點では水泳のファンはスポーツ中でも隨一ではないかと思う。この八百米で橋爪(日)が古橋をリードする作戦に出て、最初の二百あたりではかなり橋爪が出て、觀衆もあまり動ぜず、却つてラップタイムが昨年よりグンと悪いのが嘆聲となつて聞えてくるなど觀衆の譯知りぶりに一驚を喫した。そして終りになつて古橋のラップが急速に縮つてくるに従つて完全な興奮の歎聲となつてくるあたり、世にも頼もしき後援者かなと感じ、更に進んではせつかちなファンだなど嘆きたくもなる、しかし一方から見れば世界記録よりも一層實質的に優れたものを判別し得る世界最高級の——知友キツパス米監督を三嘆せしめたファンを持つわが水泳界を幸福なものだと思ひ、この支持者の熱意を永久に失わしめないような處置を忘るべきでないと思う。

例えばこれ程優秀な競技種目を持つこの大會に於てプログラム全體の編成順序は少しおかしすぎると思う、三百米混繼線と云う各種目に關連のある種目があつて編成は少し困難かもしれないが、これを番組の最初に置いて、すぐ飛込のエキジビションをやつたり、主要プログラムが案外つまつていたり、泳者にとつても、觀衆にとつても、大會の雰圍氣を盛り上げるには都合のわるいものであると思つた。豫めよく研究して頂きたいことの一つだ。

本題に歸つて競泳の経過を辿るならば八百と共に四百米自由形は橋爪は出場せずして繼泳に廻り、古橋の獨泳となつたが、4 分 40 秒 8 に留つて之亦いたく一般を失望させた。八百と共にシーズン頭初として悪い譯ではなく充分に年間の活躍を期待せしめるに充分な記録ではあるのだが、何となく物足りぬと云う贅澤を云うまでである。たゞ見逃し難いのは古橋のラップ・タイムに於ける傾向であつて、彼自身最初にあまり飛ばして苦しむよりはよい記録が得られると云つているのであるが、最初の百、二百あたりを昨年よりは餘程遅いタイムで泳ぎ、後半で伸びが出て力を平均させている。力學的に經濟速力を出すには正にこれが合理的であつて、八百の後半など見事なものと思うが、問題は今年度から豫期される國際競技等に於て、世界の強豪に顔が會つた場合である。レースは力學のみでは解決出來ぬ、大抵は前半の如何により大勢が決まる。外國の長距離選手は殊に然りである。この意味から更にもう一段のペースに對する進展が望ましい、中距離で川口(明)、東

(日)等の活躍は第二線の強化の意味で頼もしく感ぜられた。

自由形短距離に於ては濱口(日)の進歩、殊に二百米に於ける進歩は多とするも、全體として短距離的な活氣に缺けてるのを残念に思う。眞木(日)も百で1分を切つたもののスプリント要素を缺いているし、僅かに丸山(日)の進歩に稍心強く覺えるだけである。八百リレーの如き、日大が昨年よりタイムの悪いのは一に引継ぎ動作が鈍重だからと云つてもよい位である。

二百米平泳に於ける竹林地(明)と宇田(日)の迫り會ひはレースとして唯一の見應えのあるものであつた。このレースは竹林地のバタフライに對する宇田のオーソドックスとの張り合ひでもあつて、竹林地の泳法が昨年より進歩しているだけ彼に歩があ

つたのであるが、杉山が卒業した後の學生平泳界に於て宇田の進歩は認めてもよい、背泳の結果は論外とも評すべき低調さであつた。

そして最後に附記して置き度いのは我々日本水泳人の最大の希望であつた、國際水泳連盟への復歸が意外に早く許されたのはお互に喜ばなくてはならぬが、その許可になつた日附が六月十五日及その後となつて居る爲に、この三大學對抗水泳が、日本水泳界の國際孤立の最後の線を劃する記念標となり、八百米自由形の古橋の努力も、記録せられざりし世界記録の最後の記録となつたことである。この點でも忘れ得ない競技會となり得るであろう、憶えばこの日神宮に集つた萬餘の觀衆のどよめきは國際孤立の下に水泳日本を送つて新しき世代に入る喜びの叫びであつたことを世界に知らせたい。

第 14 回日明立三大學對抗水上競技大會

6 月 14 日 明治神宮プール (50 米) 公認 (氣温 25°) (水温 21°)

100 米 自由形

1	濱口喜博	(日)	59.2
2	眞木昌	(日)	59.6
3	丸山茂幸	(日)	1:00.2
4	仲村武平	(立)	1:03.6
5	天野静二	(立)	1:04.2
6	中瀬清	(明)	(1:05.0)

200 米 自由形

1	濱口喜博	(日)	2:12.8
2	丸山茂幸	(日)	2:13.8
3	眞木昌	(日)	2:15.0
4	仲村武平	(立)	2:21.8
5	中瀬清	(明)	2:25.4
6	天野静二	(立)	(2:26.8)

400 米 自由形

1	古橋廣之進	(日)	4:40.8
2	東昇	(日)	4:51.4
3	川口義和	(明)	4:53.4
4	本山昌平	(日)	5:03.4
5	林法生	(明)	5:14.2
6	松山徹	(立)	(5:31.0)

800 米 自由形

1	古橋廣之進	(日)	9:41.6
2	橋爪四郎	(日)	9:54.8
3	川口義和	(明)	10:06.4
4	川畑彌	(日)	10:25.8
5	林法生	(明)	10:58.4

6	松山徹	(立)	11:20.8
---	-----	-----	---------

100 米 背泳

1	榎谷周二	(日)	1:14.4
2	杉村了	(日)	1:14.8
3	出口清	(日)	1:16.6
4	伊藤功	(明)	1:18.6
5	奥村清	(立)	1:21.0
6	大杉正臣	(明)	

200 米 平泳

1	竹林地文雄	(明)	2:46.8(バ)
2	宇田久壽秀	(日)	2:48.4
3	杉山祐二	(立)	2:54.0
4	萩原孝男	(日)	2:56.2
5	下坂篤	(日)	2:56.2
6	伊海連作	(明)	2:56.4

800 米 リレー

1	橋爪、濱口、古橋	(日)	9:00.6
2	丸山、川口、野林	(明)	9:42.8
3	中瀬、天野、會我村	(立)	10:04.2

300 米メドレーリレー

1	伊藤、竹林地、川口	(明)	3:35.6
2	町野、安東、木本	(日)	3:37.8
3	信村、定、杉山	(立)	3:43.8

得點	日大 96	明大 35	立大 19
----	-------	-------	-------

今年の國體は横濱で

白山源三郎

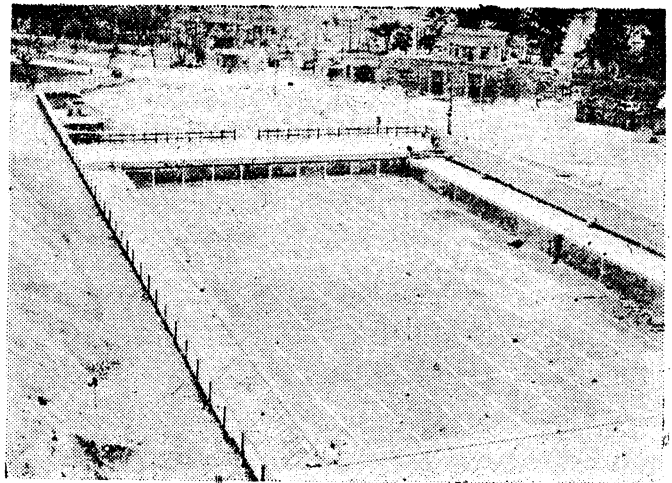
横濱野毛山新設プールが今年の國體水泳の舞臺と定つた。野毛山とは「野毛の山からノーエ」で有名な所で明治文化の第一頁に一役を果した所である。戦後文化復興に一役を承つている國體水泳が此所で行はれると云うのはくしき因縁であるとも云い得る。

プールは野毛山の奥、通常水道山とも云つた山瘤の南側で、貿易博覽會の紀念物として残されたものであり、之に 2200 萬圓を追加して、飛込臺と、1 萬人收容のスタンドを設けた、都心と、港を見降す、眺望絶佳、眺望のよい事世界一のプールである。スタンドとプールの關係並に、飛込臺の位置の L 字型をなす點等 昨年八幡プールと全く同じ型をなしているのも不思議な偶然である。

9 月 15 日より 18 日迄ここで各都道府縣を代表する選手 1500 名が火花を散らす熱戦を展開するのである。横濱市民は未だ且てない熱意を以て其日を待つてゐる。市は目下の諸事困難な時代に拘らず、あらゆる無理を押して準備の完璧を期し、縣も心からの援助に積極的である。

集る選手の動向についてはまだ本年度の各種競技會が終つていないのでよく判らないが、實業團では横濱ゴムのある東京が殆ど確定的に優勝するのではないかと思はれる。之に福岡の日鐵がどの位追つてくるかと云う所であらう。教員には思いがけない古強者眞の意味のベテランが出そう面白い。何と云つても一番興味も深く意義の重大なのは高等學校であらう。將來の日本水泳を背負つて立つ大事な鳳雛等である、或は現役の一端を負うと云つてもよい面々であり、元氣に張切つた然も本年最後の活躍である。活目して見られたい。女子高等は一才、一オクターブ遅れているのが残念である。青年團は未知數で見當がつかないが案外、此面も教員と同じ様に面白いのではないか。社會人對學生に、丁度米國より歸り、學連も終つた第一線選手が最後の活躍を試みる所に記録的興味と、歸米後の變化に期待が持てる。

進駐軍の最も多く滞在する横濱、日本民主化の尖端の使命を負う横濱で行はれる本大會、運営に於て過去の軍國的なるものを拂掃して明るい民主的な大會としたいのは主催者の念願の一つである。協力願ひたい。



プール行脚 (1)

深谷俊明

第 6 回國民體育大會開催地に内定している廣島縣に、夏季大會々場候補地として、吳市の舊二河公園附近に吳市營プールがスタンド、飛込プールを残して完成した。プール建設は市會で否決されること 7 度、資金、資材難の悪條件を突破して、約 15,000,000 圓を投じて、水泳に理解ある市當局、わけても望月水泳部長 (イヤ、水道部長デシタ)、戸田工務課長、小早川體育主事、縣水連の鎌田さん等の並々ならぬ結晶として寫眞のような、所謂「水連の高度標準型公認プール」がデビューした。

水路長	50 m
水路幅	2.5 m
プール幅	25 m
最深	1.5 m
最浅	2.0 m
排滿水所要時間	8 時間

尙この環境は極めて良好で、他に徒涉池や純日本式泉水庭園あり、總坪數は 9,000 坪餘にも及び、我國では珍らしい水の公園といつたところで、白い御影石のスタート臺や、チェック型のコンクリート舗装はこのプールを訪れる人の印象に残ることであらう。山肌を利用した 10,000 人收容スタンドも飛込プールも周圍に調和したものにした。過般水連藤田専務理事は郷里のこととて、プール開きに參列した際、その立派さに聲も出なかつたとか、出たとか。

設計に關係した筆者も意を強くした次第であるが、第 4 回國體開催を前に、第 6 回國體の盛會を偲んで擱筆する。

春季合宿練習の報告と雑感

(期間 4 月 10 日—19 日)

コ - チ 主 任 小 池 禮 三

一、冬季合宿練習の目的は、次回オリンピックに對して既成選手十新進選手をもつて臨むという意味でまず高等學校生徒の強化を計るためこれらの優秀選手を集めたのであるが、春季合宿練習は冬季合宿練習の結果將來性のあると思われる 高校選手十既成選手をもつて編成したのである。

二、使用プールについては、従來は伊東の温泉プールばかりで催されていたのであるが、今回は進駐軍の好意と關西支部の努力で甲子園室内プールを借りることが出来たので、戦後初めて正規のインドアー・プールにおいて合宿練習をすることが出来今更乍ら立派なプールを目の前に見てコーチングスタッフも選手もこれなら思う様な練習が充分出来るという感を抱いた次第である。

三、宿舍は甲子園球場のスタンド内にしたため、プールとの距離、體操を行う場所、或は入浴場の設備等非常に便利であつた、食事は甲子園野球場のまかないで量質、共に適當であつたと思うがたゞ獻立に變化のなかつたのがぜひたくをいえばいえる程度であつた。

四、日課は次の通り

一、起 床	6.30
一、體 操	6.35—7.00
一、朝 食	7.30
一、午前練習	9.00—12.00
一、晝 食	12.30
一、午後練習	15.00—18.00
一、夕 食	18.30
一、マツサージ	19.30—20.30
一、就 寢	21.00

五、雑感

(1) 今回の合宿はこれで戦後五回目であるし、選手も合宿に馴れて來ているので、今度あたりの合宿練習には、緊張の度合が缺けて來るのではないかという懸念があつたので、コーチングスタッフとしては最初から相當強い意氣込みで臨んだのであるが、やはり最初懸念された通り先ず集合時間で相當数の遅

參者を見、又次には藤田専務理事の會長代理としての挨拶として禁煙を固く約束されたにかかわらず、一部の者に喫煙した事實があつたのは、誠に遺憾であつた。今後の合宿に於いては、規律の嚴守には斷固たる態度を取る必要があると思う。外國ではスポーツマンが禁煙している位は常識であるし、今後對外試合に臨むことを考えると、又タバコ一本の弊害よりもそれを抑えることの出来ない意志の薄弱が、練習其他團體行動に及ぼす影響を思う時には單に一本のタバコでは濟まされないと思う。

(2) コーチングスタッフとしては、今度の合宿は前記の通りあらゆる點で、恵まれた合宿が出来るので今迄に見られない程量でも、強さの點でも多くを要求しこの機会に一舉にシーズン始めの練習に入る前の調子を整えこれを基點として、アウトドアプールの練習に入り今年度の各自の記録の向上を計つて貰う積りであつた。この結果はシーズン初めの早慶戦三大學に直ちに現れていると思う。

(3) 今迄の合宿よりは量的に多く、泳ぐといつても使用時間に制限があるので、大體午前中に長いのを泳いで午後に短いのを泳ぎ、練習量の充實を計つた。長いのを泳ぐとどうしても長時間を要するが、短いのを數回行う方がずつと時間の節約になる。練習時間の有効な使用にはいろいろ考えたが結局この程度である。選手は自分で自由練習の時間が欲しかつた様であるが、こういう合宿ではなかなか自由練習の時間まで持つといふことはむづかしいと思うが、今後の合宿には一應考えに入れる必要はあると思う。又ある選手は練習方法にもつと基本的な又技術的な面を要求していた様であるが、今回の合宿では一應この面ではピリオッドを打つた上での合宿であるから、そういう面を要求される人は、各個人がもつと積極的にコーチと共に、或は自分で機會をとらえて研究する様に心掛けて貰い度いと思う。こういう問題は今後共既成選手と新しい選手とで、チームを編成する場合はいつでも起つて來る問題であるから、この點コーチとしても終始チーム全體とそれ

から各個人のコンディションの持つて行き方に對して、工夫と注意をして置かなばならない。

(4) 最後に記録會を行つたが、此の結果は吾々が豫想していたより相當低かつた。その原因は今迄の合宿期間は大概一週間であつて、一週間では丁度水に乗つて來た頃終りとなるので、今度は十日間行い度いという事で十日間にしたのであるが、一週間の場合は丁度最初の體痛みも取れて、水に乗つて來た頃記録會をやつて一應成功していた。ところが十日目の記録會は、水に乗つて來て體全體を充分使える練習をして本當の疲勞が來た時に記録會にぶつかつたので、あの様な結果に終つたと思う。コーチングスタッフとしては今回の反省として、また今後の參考としてもつと綿密に練習期間と、量と、強さに依つて選手はどういう調子になるかという事を、今迄よりもつとはつきりさして置く可きであるという事は、今度の合宿が失敗であるといふ事になしに痛感した。この點もチーム全體と個人との關係を充分考へて上手に持つて行かねばならない。

(5) 今後の合宿練習の對象であるが、今迄の合宿が日本の水泳のレベルを現在迄にするに役立つ事は事實が示しているが、今後の合宿の對象は唯單に記録的に上位のものみの強化を計るということではなく、日本の水泳があく迄オリンピック第一主義

であるためには、日本の水泳の現状では既成選手よりもむしろもつと多量のを望まねばならないし、未知數の選手の養成に重點を置かなければならないと思う。此の意味で冬期は高校生徒の合宿を試みたのであるが、これでも未だ相當の無駄がある様に思う。優秀な選手はそう簡単には出來ないと思うが、何等かの方法で今迄の方法でなく、もつと將來性のあると思はれる、若い人のみを集めて合宿する事が出來たらと念ずる次第である。

合宿參加選手

【自由形】 △短距離 濱口、眞木、丸山(以上日大) 上杉(慶大)、濱川(神大)、野間(廣島高)、鳥居(北大)、樋口(關學高)、仲村(立大)、浪花(田邊高) △中長距離 古橋、橋爪(日大)、村山、藤野(早大)、川口(明大)、東(立命)、濱田(同大)、田中(藝陽高)、山本(關大)、鷹野(盤田農)、川口(伊豆俱) 中西(神戸一高)

【平泳】 杉山(立大)、宇田、五味(日大)、竹林地、伊海(明大)、關根、宮澤(早大)、下坂(三瀨高)、萩原(岡山高)、清水(青陵高)

【背泳】 西野、榎谷、杉村(日大)、待鳥(早大)、赤樫(慶大)、木部(伊豆俱)、山本(關學)、宮部(伊都高)、田中(青陵高)、黒佐(八幡製鐵)

春季關東學生水球リーグ戦を顧みて

時 任 巖

春季關東學生水球リーグ戦は新規則採用初の公式試合として各方面より多大の注目を集めたのであるが、革命的規則改正に即應するため各チームの眞剣な研究により、夫々其の特長を生かし、將來の完成に向つて種々の問題を提供してくれたことは喜びにたえない。勿論今回の結果のみを以て斯く斯くでなければならぬとの速斷を下すことは避くべきであり、少くとも近水クラブ、稻泳會、三水會、九州等のヴェテランの活躍をまつて始めて資料が出揃うわけである。しかし今回のリーグ戦のみによつてある程度の見通しをつけ得るのであり、これが發表は親しくゲームに接することを得なかつた全國の關係者に少なからぬ參考を供し得るものと考えたので、ピ

ツグ・スリー早慶日の戦い振りと其の示唆するところを感じたまゝ書き綴つて見ることにした。各チームが益々研究をつまれんことをねがうと共に拙い本稿が關係者諸賢に多少なりとも參考たり得れば望外の幸とするところである。

攻 撃

ビッグ・スリーのやつた三試合を一見して看取せらるゝとおり、各試合に於ける兩チームの得點は、早日 5 對 9 計 14 點、慶日 2 對 12 計 14 點、早慶 7 對 4 計 11 點で、從來の規則によるゲームに比べ倍近い得點數を示している。新規則による試合に於ては兩チームの得點合計が 10 點を超える事が

普通で 14, 5 點になる場合も稀でなく、其の半數の 7 點以上の得點を取れない場合は勝つことが困難なことを示唆しているのではないだろうか。「守るよりも攻めて得點しなくては勝てない。何より得點能力が一番大切である。之は一にタックル禁止に因るのであるが、斯くしてシュートが直ちに得點となる確率が増大し、如何に優れた防禦も或る程度の失點は規則の上から言つて必然的であり、勝つ爲には自軍の失點以上のものを取らなくてはならない。この最少限度必要な得點を取る能力のないチームは勝てない。以上が新規則による水球の特徴である」とゆうことを今回の結果が明かに示している様に思われる。又ボールを支配することが直ちにシュートとなり又得點となる確率が増大したことは、センター・ボール獲得の重要性を倍加させ、其の爲の泳のスピードがより大切となつたのである。

日大が何故從來破り得なかつた早慶を同一メンバーで大破し得たのであろうか。之を一言に要約すれば、總てのセンター・ボールを奪い、相手に攻撃する機会を與えず、濱口を中心とする力強いフォワードに再々ボールを供給することによつて機械に油を差し、攻撃の調子を出さしめたことにある。日大チームの攻撃が後半、特にタイム・アツプ近くに手の付けられない猛威を揮つた所以である。

日大チームは從來日本で見られなかつた大型チームである。日本人離れのした偉大の體格、疲れを知らぬ體力、そして物凄い泳のスピード、之等が對外試合に於ては缺くことの出来ない基礎的要件であることを我々は永年主張し續けて來たのであつて、從來餘り關心を持たれなかつたことは誠に遺憾にたえなかつたのであるが、之等の基礎的要件が新規則をこなす上に於ても絶對必要であることを目の邊りに示してくれたことは有意義であつたといわなければならぬ。

新規則をこなす時間のなかつた今回のリーグ戦に於て攻撃に關するチーム・ワーク、コンビネーションが特に取り立てゝ擧ぐべきものゝない淋しいものであつたのはやむを得ない。

日大チームの攻撃法にしても右斜めに切れ込む濱口にボールを渡し其の個人的得點能力を活したに過ぎず、他チームにもフォーメーションらしきものを認めることが出来なかつた。然もなお攻撃が防禦を壓して多數得點を擧げ得たことは注意しなければならぬ。一流チームのフォワードが總て濱口と同程

度の得點能力を持つ様になり、そして新規則に適應した合理的なフォーメーションが完成せられたならば、防禦は餘程進歩しなくては追い付いて行けないであらう。

由來攻撃と防禦との關係は病菌と醫術、犯罪と法律の如きものである。或る時期は病菌が猛威を揮い、間もなく醫術が研究して之を押え、犯罪が巧妙になつて世を毒することが多くなれば法律が改正されて之を押えるとゆう工合に、相互に抜きつ抜かれつ競争して進歩して行くものである。今回のリーグ戦に於ては先ず攻撃がリードした形である。之が濱口のワンマンチームですら然りであつた。然し既にサンプルは示されたのであるから、一流チームは濱口の技術を會得し、之を進歩させ之を複雑化し、之等の技術を驅使して合理的なフォーメーションを完成し、一時期は防禦側を手こずらすであらう。然し次の段階に於ては防禦側は必ずや對策を研究して、易々とは得點させない様になるであらう。そして此の兩者の競争を通して氷球競技はより高度の進歩を遂げるであらう。

濱口の得點技術を分析すれば次の通りである。ゴールに向つて右斜めに突込んでドリヅルし、自己の好むところで突然止まり、マークして追つて來た防禦者を行き過ぎさせてフリー・シュートするのである。この成功した理由は第一に素晴らしいスピードである。マークする者は全力で追いかけてはならぬ。全力で追いかけて行くところを突然止まるから、つい行き過ぎてしまうわけである。尙見逃し得ない點は止まる際ボールが沈む程ボールに體重をかけて後もどり氣味に體を立て、シュートしたことである。從來の規則では之のボールに手をかけ、ボールに體重をかけて止つた際にタックルすることが出来たのであるが、新規則ではタックルが禁じられている故に防ぎ得なかつたのである。つまり濱口は新規則に適つたシュートの一つの型を創作したわけである。此の意味で濱口の活躍は斯界の爲に甚だ有意義であつたと言わなければならぬ。

尙日大優勝の原因としてパス・ワークの成功を見逃すことが出来ない。各人がマークする相手に壓迫されている際にも悠々あわてず體を立て、踏足を利かして體を水上に高く保ち、よく狙つてダツシュする濱口にさへ必ず正確な又時機にかなつたパスが渡つたことである。然るに早慶兩チームは壓迫された時には逃げ乍ら仰臥して然もあわてゝパスする者が

防 禦

多かつた爲にパスの時機が早過ぎ或は遅過ぎ且不正確であつた。これは舊規則からの頭の切かえが出来ておらず、無意義にタツクルを恐れて逃げていたのである。新規則ではボールを持つた者は「時間空費」を審判員に罰せられる以外はオール・マイターであることを忘れていたのではあるまいけれども、つい以前からの習慣、癖がそのまま出てしまつたのである。日大チームが従來の規則のタツクルの恐ろしさを充分知らなかつたことが却つて幸したのかも知れないが、早慶兩チームがタツクルの恐怖から抜け切れず、この點で頭の切かえが充分でなかつたことは否定出来ない。流石に日大と戦つた後の早慶戦に於ては兩チーム共幾分匡正されていた様である。

以上日大の長所のみを擧げて見たが、このまゝで秋にも勝てるとは日大自身も考えていないであらう。日大は要するに濱口あつてのチームである。然も濱口の右斜に切れ込むドリヴルー一點張で優勝したのである。斯の如き單純な攻撃法はそうとわかれば対策は困難でない。日大が眞に恐るべきチームとなる爲には他の2名のフォワードが濱口と同等の得點能力を持つ様になり、之を基礎に多彩にして合理的なフォーメーションを完成した時である。益々研を鑽積まれ斯界の爲に活躍せられんことを望む。

二位となつた早大チームのフォワードは全く未完成の一語に盡きる。安藤一人がようやく第一線級と言へる程度に過ぎない。唯早慶戦に於て安藤が濱口のシュートを幾分複雑化して得點を稼いだのが收穫と言へる。

慶應のフォワードは3人共相當な能力があり、なかなか均制のとれた良いコンビを持つていた。残念乍ら體格とスピードに劣り小形のきらいがあるが、早日に對抗出来ない程度の弱體ではなかつた。新規則に適應する新機軸を持たなかつたことが今回の不成績の一つの原因ではあるが、より多くのボールを供給され、攻撃の機會を與えられていたならば、3人が3人共むぎむぎ引下る人たちではなかつた筈だ。慶應のフォワードは日大の夫と丁度反對の立場に置かれたのである。日大は續々ボールを供給されて調子が出たに反し、慶應は防禦に忙殺され、ボールを供給されて攻撃する機會が稀であつた爲に遂に調子が出ないでしまつたのである。新規則ではセンター・ボールを取ることの重要さが決定的であることを判然と示したものである。

新規則による水球の勝敗が攻撃の如何によつて決することが多いのは既に述べた通りであるが、之は決して防禦をおろそかにして良いとゆうことにならないことは申す迄もない。防禦を安んじてバックに委し得てこそフォワードはのびのびと攻撃に専念出来るのであり、攻撃に失敗して敵にボールを與える事が敵に一點を與えるに等しいとゆう如き弱體防禦ではフォワードは畏縮して存分の活動が出来ない筈である。ましてセンター・ボールを取られる場合には、先づ守つて敵の攻撃を支え、ボールを奪還した後でなくては攻撃に移れない。諺にある如く攻撃は最善の防禦ではあるが、防禦は又攻撃の前提であるのである。

防禦が其の性質上受身であり、新規則にそうて練磨された仮想敵の攻撃が如何様なものであるかに関する判断も困難であつた故もあり、今回のリーグ戦に於る防禦法は不満足なものであつたのは已むを得ないだろう。優勝した日大も防禦に於てはたして見るべきものを持つていなかつた。對早大戦の前半にセンター・ボールを全部取つたに拘らず5點の失點を録したのはその脆弱さを物語るものであり、慶應を2點でくい止め得たのは相手にボールを渡さなかつた故であつて、決して防禦力そのものが優秀であつた故ではない。日大チームは今後此の點に練磨を加える必要があるであらう。

不充分とは言へ3チーム中で最も防禦に安定性を示したのは早大であらう。インサイド・マンツーマンを基調とし、必要に応じてシフトし、又敵シュートに際しバックがキーパーとゴールを分擔して守らんとする行き方は防禦法としてオーソドックスであると思う。對日大戦前半の健闘及び對慶應戦に4の失點で勝利を確保したことは其の防禦法の安定性を物語るものと思う。

慶應の防禦は西川卒業し、豊田、松本事故で鶴岡の孤軍奮闘は悲壯であつた。あのメンバーを以てしては所詮早日の攻撃にたえることは困難であつたのである。外側マークによりパスをカットせんと試みたことも苦しまぎれの奇道とゆうの外はない。唯岩下が反對サイドのフリー・シュートに對してゴールに入りキーパーと並んだ時期と呼吸は將來性がある様に思われる。あの呼吸は早過ぎては自己のマークにパスされ、遅れては間に合はず、正に紙一重の瞬

間に機会があるのである。健かに育て度い技術の一つである。

尙一言を要するのはキーパーの能力不足である。タックルの禁止された新規則に於てはバックは總てのシュートを防ぐことは不可能であるから、キーパーの能力向上が防禦成功の鍵であることは論議の餘地がない。今回のリーグ戦で此の點に進歩の認められなかつたのは遺憾である。

從來日本のキーパーに優秀な者が少なかつたのは飛上りに關する根本觀念に間違ひがあつた故でないかと思われる。彼等は構えに於て腰を浮かし、且つアフリ足と共に手で水を押して飛び上らんと心掛けている。斯くては大きく飛上れてもスピード・シュートに對して時間的に間に合はず、手で水を押している間にボールがゴールに入つてしまう場合が多い。これは根本的に考え方が間違つている。キーパーはスピード・シュートが何時飛んで來ても直ちに手が出なくてはならぬ。その爲には手で水を押すことをせず、何時でも直ちに手が出る様に構え、腰を浮

さず、小刻みの踏足から何時でもアフリ足のみによつて飛上ることが出来なくてはならぬ。斯くしてこそ突然のスピード・シュートに對しても手が出るのである。又アフリ足は小さい鋭いものでなくてはならない。大きくては高く飛上ることが困難であるばかりでなく、フェントによりタイミングを外された時は簡単に落ちてしまう。之を要約すれば手で水を押えない足のみによる飛上り、小刻みの踏足より小さいが力強いアフリ足への引繼ぎ、そして飛上つた後直ちに落ちない踏足へのリレー、これらのフット・ワークがキーパーに要求される基礎的、根本的技術なのである。残念乍ら現在の日本のキーパーは第一歩から出直す要がある様である。

ゾーン・デフェンス（地域防禦法）は必ず威力を發揮する様になる時があるであらう。然しこれはキーパーの上達があつて始めて可能となるのである。現在のキーパーの能力を以てしてはゾーン・デフェンスの採用は不可能であらう。キーパーの奮起を望むや切である。

平泳の蛙脚と扇脚

（水泳指導について）

白山源三郎

初心者に對し、或は學校に於ける學童に對し、水泳を指導するにつき、最も注意をせねばならない一つの事は、泳ぎの型に於て、平泳に蛙脚と、扇脚とがあるからと云つて、之を並べて教へ様とする誤りに陥り易い事である。蛙脚の平泳と扇脚の平泳とは相容れないものであつて、兩方を泳ぎ分けることは

練達者には出来ない事ではないが、強いてする必要もない事である。まして初心者に兩方を同時に教えるが如きはとんでもない事である。孰れか一方が出来れば一應それでよろしい、日本では地方により、蛙脚の普及している所と、扇脚の普及している所とあるから、いづれか其地方で普及した方を習へばよい、競技に重點を置く所では蛙脚をやればよいといへる。標準泳法でも其誤りに陥らない爲に、扇平泳を抜くことにした。重ねて云うが初心者に之を並行して教えたりしたならば、初心者はどうにもならない混亂に陥る許りである。



古橋君ら日本の選手はアメリカに行つて“フジヤマの飛魚”と形容された。これはその源かどうかわからないがスペインの水泳機關紙四月號にのつた古橋選手紹介のさし繪である。

F.I.N.A 發表世界最高記録表 (1948—10—1 現在) ※は鹽水プール

男子の部

自由形

距離	タイム	保持者	所屬	場所	年月日	水路
100 ヤード	49 秒 7	アラン・フオード	(米)	ニューヘヴン	1944.3.18	25 ヤード
100 メートル	55 秒 4	アラン・フオード	(米)	ニューヘヴン	1948.6.29	25 メートル
200 メートル	2 分 5 秒 4	A. ジヤニエ	(佛)	マルセイユ	1946.9.20	※25 メートル
220 ヤード	2 分 7 秒 1	W. スミス	(米)	コロンバス	1944.2.12	25 ヤード
300 ヤード	3 分 3 秒	A. ジヤニエ	(佛)	カサブランカ	1948.9.10	※25 ヤード
300 メートル	3 分 21 秒	A. ジヤニエ	(佛)	カサブランカ	1947.9.23	※50 メートル
400 メートル	4 分 35 秒 2	A. ジヤニエ	(佛)	モンテカルロ	1947.9.12	※50 メートル
440 ヤード	4 分 38 秒 5	W. スミス	(米)	ホノルル	1941.5.13	25 ヤード
500 ヤード	5 分 16 秒 3	J. メデイカ	(米)	ニューヨーク	1935.4.6	25 ヤード
500 メートル	5 分 56 秒 5	R. フラナガン	(米)	マイアミ	1938.4.3	※25 ヤード
800 メートル	9 分 50 秒 9	W. スミス	(米)	ホノルル	1941.7.24	※110 ヤード
880 ヤード	9 分 54 秒 6	W. スミス	(米)	ニューロンドン	1942.8.10	※55 ヤード
1000 ヤード	11 分 37 秒 4	J. メデイカ	(米)	ポートランド	1933.7.29	55 ヤード
1000 メートル	12 分 33 秒 8	天野 富勝	(日)	東京	1938.8.10	50 メートル
1500 メートル	18 分 58 秒 8	天野 富勝	(日)	東京	1938.8.10	50 メートル
1 マイル	20 分 29 秒	K. ナカマ	(米)	ニューロンドン	1942.8.8	※55 ヤード

リレー

400 ヤード	3 分 23 秒 8	ニューヘヴン S. C	(米)	ニューヘヴン	1948.7.2	25 ヤード
		{ A. フオード E. ヒューバー F. ドーバー H. ジョンソン				
400 メートル	3 分 48 秒 6	ニューヘヴン S. C	(米)	ニューヘヴン	1948.6.29	25 メートル
		{ A. フオード E. ヒューバー F. ドーバー H. ジョンソン				
800 ヤード	8 分 24 秒 3	エール大学	(米)	ニューヘヴン	1936.6.9	50 ヤード
		{ P. ブルツケル R. クック J. マシオニスト N. ホイト				
800 メートル	8 分 46 秒	米 國 チーム		ロンドン	1948.8.3	50 メートル
		{ W. リス W. ウォルフ J. マックレーン W. スミス				

平泳

100 ヤード	59 秒 4	K. E. カーター	(米)	ラフアイエット	1947.12.12	25 ヤード
100 メートル	1 分 7 秒 3	R. ハウ	(米)	ニューヘヴン	1939.4.15	25 メートル
200 ヤード	2 分 14 秒 7	J. T. ヴァーデューア	(米)	アンアバー	1948.3.27	25 ヤード
200 メートル	2 分 30 秒	J. T. ヴァーデューア	(米)	ニューヘヴン	1948.6.28	25 ヤード
400 メートル	5 分 43 秒 8	A. ハイナ	(獨)	コペンハーゲン	1938.2.10	25 メートル
500 メートル	7 分 13 秒	A. ハイナ	(獨)	ゾリンゲン	1939.5.7	25 メートル

背 泳

100 ヤード	56 秒 8	A. キーフアー	(米)	アナポリス	1944.2.26	25 ヤード
100 メートル	64 秒	A.M. スタック	(米)	ニューヘヴン	1948.6.23	25 メートル
150 ヤード	1 分 30 秒 4	A. キーフアー	(米)	ホノルル	1941.5.24	25 ヤード
200 メートル	2 分 19 秒 3	A. キーフアー	(米)	アナポリス	1944.3.4	25 ヤード
400 メートル	5 分 3 秒 9	A.M. スタック	(米)	ニューヘヴン	1948.2.14	25 ヤード

メドレーリレー

300 ヤード	2 分 49 秒 1	ミシガン大學	(米)	アムアーバー	1948.2.21	25 ヤード
		{ H. ホリテイ R. ソーネル R. ウェンバーク				
300 メートル	3 分 12 秒 3	ツールーズのイルカ	(佛)	マルセイユ	1946.9.16	※25 メートル
		{ G. ヴアレリー A. ナガシユ A. ジヤニ				

女 子 の 部

自 由 形

100 ヤード	59 秒 5	F. ナタンセン(デンマーク)	アールス	1944.4.27	※25 メートル
100 メートル	1 分 4 秒 6	W. デンオウデン (オランダ)	アムステルダム	1936.2.27	25 メートル
200 メートル	2 分 21 秒 7	R. ヴエーガー(デンマーク)	アールス	1938.9.11	※25 メートル
220 ヤード	2 分 22 秒 6	R. ヴエーガー(デンマーク)	コペンハーゲン	1939.4.23	※25 ヤード
300 ヤード	3 分 25 秒 6	R. ヴエーガー(デンマーク)	コペンハーゲン	1938.10.2	※25 ヤード
300 メートル	3 分 42 秒 5	R. ヴエーヴ(デンマーク)	コペンハーゲン	1940.9.15	25 メートル
400 メートル	5 分 0 秒 1	R. ヴエーガー(デンマーク)	コペンハーゲン	1940.9.15	25 メートル
440 ヤード	5 分 7 秒 9	アムカーチス	(米) シヤトル	1947.5.3	25 ヤード
500 ヤード	5 分 53 秒	R. ヴエーガー(デンマーク)	コペンハーゲン	1942.4.19	25 メートル
500 メートル	6 分 27 秒 4	R. ヴエーガー(デンマーク)	コペンハーゲン	1940.2.11	25 メートル
800 メートル	10 分 52 秒 5	R. ヴエーガー(デンマーク)	コペンハーゲン	1941.8.13	※50 メートル
880 ヤード	11 分 8 秒 6	アムカーチス	(米) サンフランシスコ	1944.7.30	50 ヤード
1000 ヤード	12 分 36 秒	R. ヴエーガー(デンマーク)	ヘルシンキ	1938.9.4	※50 メートル
1000 メートル	13 分 54 秒 4	R. ヴエーガー(デンマーク)	コペンハーゲン	1941.8.20	※50 メートル
1500 メートル	20 分 57 秒	R. ヴエーガー(デンマーク)	コペンハーゲン	1941.8.20	※50 メートル
1 マイル	23 分 11 秒 5	R. ヴエーガー(デンマーク)	ヘルシンキ	1938.7.3	※50 メートル

リレー

400 ヤード	4 分 5 秒 7	デンマーク國チーム	コペンハーゲン	1943.4.11	※25 ヤード
		{ F. ナタンセン K.O. ベテルセン B.O. ベテルセン K.M. ハルツプ			
400 メートル	4 分 27 秒 6	デンマークチーム	コペンハーゲン	1938.8.7	25 メートル
		{ F. アルント G. クラフト B.O. ベテルセン R. ヴエーガー			

平 泳

100 ヤード	1 分 9 秒 2	ネルフアソフリート (オランダ)	ヒルバースム	1947.5.4	25 ヤード
100 メートル	1 分 18 秒 2	ネルフアソフリート (オランダ)	アルンヘム	1947.4.28	25 メートル

200 ヤード	2 分 35 秒 6	ネルフアンフリート (オランダ)	デンハーグ	1946.8.24	25 メートル
200 メートル	2 分 49 秒 2	ネルフアンフリート (オランダ)	ヒルバースム	1947.7.20	25 メートル
500 メートル	7 分 41 秒	ネルフアンフリート (オランダ)	ヒルバースム	1946.12.1	25 メートル

背 泳

100 ヤード	1 分 5 秒 1	キント (オランダ)	ロッテルダム	1939.8.18	25 メートル
100 メートル	1 分 10 秒 9	キント (オランダ)	ロッテルダム	1939.9.22	25 メートル
150 ヤード	1 分 42 秒 1	キント (オランダ)	ロッテルダム	1939.9.29	25 メートル
200 メートル	2 分 38 秒 8	キント (オランダ)	ロッテルダム	1939.11.26	25 メートル
400 メートル	5 分 38 秒 2	R. ヴェーガー (デンマーク)	コペンハーゲン	1941.3. 2	25 メートル

メドレーリレー

300 ヤード	3 分 19 秒 6	オランダ國チーム { I. K. ファンフエツゲレン ネルフアンフリート H. テルミューレン	ヒルバースム	1947.5. 4	25 ヤード
300 メートル	3 分 42 秒 4	オランダ國チーム { I. K. ファンフエツゲレン ネルフアンフリート H. テルミューレン	アルンヘム	1947.4.28	25 メートル

海外 ニュース

アメリカ春の二大競技會

第二十六回全米學生室内水泳選手權大會は三月二十四日から三日間 ノースカロライナ大學二十五ヤードプールで行われた。オハイオ州大學は 49 點で優勝、前年の優勝校ミシガン大は三位となつた。

二百ヤード平泳ではオリンピック・チャンピオンのヴァーデューア (ラザール大) と二位のカーター (バーデュー大) が熱戦を演じカーターが勝つた。彼の 2 分 14 秒 8 はヴァーデューアが前年作つた世界記録に 0 秒 1 だけおとつていた。兩選手は百ヤード個人メドレーでもはげしくせりあい、ヴァーデューアがタッチの差で勝つた。1 分 30 秒 8 はアメリカ新記録 (舊記録ホリデイの 1 分 32 秒 8) ビル・スミス (オハイオ州大) リス (エール大) らの自由形エースも健在ぶりを示した。△五十ヤード自由形ウエンバーグ (ミシガン大) 23 秒 1 △百ヤード自由形ウオーリー・リス (アイオワ大) 50 秒 4 △二百二十ヤード自由形ビル・スミス (オハイオ州大) 2 分 8 秒 5 (大會新記録、舊はミシガン大ファーガーハイドの 2 分 9 秒 1) △四百四十ヤード自由形ビル・スミス (オハイオ州大) 4 分 24 秒 6 △千五百メートル自由形①ウィリヤム・ヒュースナー (ノースウエスタン大) 19 分 4 秒 8 ②ラルフ・セイラ

(スタンフォード大) 19 分 16 秒 1 △二百ヤード平泳①ケース・カーター (バーデュー大) 2 分 14 秒 8 ②ヴァーデューア (ラザール大) △百五十ヤード背泳ロバート・デグルート (オハイオ大) 1 分 34 秒 △四百ヤードリレー、エール大 (ガーデス、ファンスワース、ムンソン、リード) 3 分 27 秒 (大會新記録、舊はミシガン大の 3 分 27 秒 8) △三百三十ヤード・メドレー、リレー、アイオワ大) ドレイヴス、スタスフオース、ストラヴ) 2 分 54 秒 1 △百五十ヤード個人メドレー①ヴァーデューア (ラザール大) 1 分 30 秒 (全米新) ②カーター (バーデュー大) △一メートル飛板飛込ブルース・ハーラン (オハイオ大) 142.41 △三米飛板飛込①ブルース・ハーラン (オハイオ州大) 152.51 ②カラハー (オハイオ州大) 134.58
△得點順位①オハイオ州大 49 點②アイオワ州大 35 點③ミシガン大 32 點④エール大 18 點⑤ラザール大 12 點⑥バーデュー大 11 點⑦ノースウエスタン大、ミシガン州大 10 點⑧ノースカロライナ大 7 點

全米室内水泳選手權大會は三月三十一日から三日間フロリダ州デイトナビーチで舉行、ヴァーデューアは三百ヤード個人メドレーで 3 分 22 秒 9 の全米新記録を出した (舊記録は五年前キーファー選手がつくつた 3 分 23 秒 9)。自由形では一週間前の全

米學生で活躍したスミスが振わず、二百二十ヤード三位、四百四十ヤードでは四位となつた、二百二十ヤードはデトロイトのガイブが2分10秒8で勝ち、四百四十ヤードはマツクレーンが4分41秒5の大會新記録で優勝した、(舊大會記録はスミスが五年前に出した4分42秒1である)

總得點ではマツクレーンのニューヘーヴン水泳クラブが40點で優勝した、△百ヤード自由形①ウオリー・リス(アイオワ大)51秒4②ガイブ(デトロイト A. C.)

△二百二十ヤード自由形①ボツブ・ガイブ(デトロイト A. C.) 2分10秒8②ヒュースナー(ノースウエスタン大)③スミス(オハイオ州大)

△四百四十ヤード自由形①ジミー・マツクレーン(ニューヘーヴン水泳ク) 4分41秒5(大會新)②ヒュースナー(ノースウエスタン大)③トーマス(不明)④スミス(オハイオ州大)

△百五十ヤード背泳アレン・スタツク(ニューヘーヴン水泳ク) 1分30秒7

△三百ヤードリレー①ニューヘーヴン水泳ク(スタツク、ガーデス、リード) 2分52秒4②オハイオ州大△三百ヤード個人メドレー①ヴァーデユアー(フィラデルフィア) 3分22秒9(全米新)

△一米飛板飛込ブルース・ハーラン(オハイオ州大) 145.56

得點順位①ニューヘーヴン水泳ク 50點②オハイオ州大 34點

スタツク世界新記録

ロンドン・オリンピック大會百メートル背泳勝者アラン・スタツク(エール大)は五月六日ニューヘーヴン(コネチカット州)で百五十ヤード背泳にキープアの保持する世界ならびにアメリカ記録1分30秒4を破る1分29秒9の新記録を立てた。

カーター世界新記録

ロンドン・オリンピック大會二百米平泳二位のキース・カーター選手(アメリカ)は五月五日夜インディアナ州ラフアイエツトで行われた水上競技會の百ヤード平泳に58秒5の世界新記録をつくつた。

この記録は最近世界公認記録として認められた彼の保持する59秒4をさらに0秒9縮めたもの。

ヴァーデユアー世界新記録

ロンドン・オリンピック大會二百米平泳に優勝したジョー・ヴァーデユアー選手は三月二日夜行われたプリンストン水泳記録大會百ヤード平泳で1分0秒4の世界新記録を出した、もとの記録は一九三九年に R. ハウ選手(米)がニュー・ヘヴンでつくつた1分0秒6でまたヴァーデユアーの記録は目下ドン・デ・フォレスト選手(米)によつて世界公認を申請中である1分0秒5よりも0秒1まさつてゐる。

× ×

アメリカ西部地區學生對抗水泳選手權大會は三月七日コロンバズで行われ、オハイオ州立大が前大會の優勝チーム、ミシガン州立大を破り大量68點をあげて優勝、二位アイオワ州立大51點、三位ミシガン州立大49點となつた。

なおロンドン・オリンピック大會百メートル自由形で優勝したアイオワ州立大のウオリー・リス選手は百ヤード自由形に51秒4の記録で優勝した。

アメリカ平泳界の第一人者ジョー・ヴァーデユアーは歐洲に遠征六月五日パリで百五十メートル個人メドレーで歐洲選手權保持者フランスのヴァレリイを破つて優勝した、記録は1分27秒6

× ×

三月はじめアメリカ軍政地區シュワデイシュグムンドで行われた水泳大會でドイツのウオルテル・クリング選手は百メートル平泳でハウ(米)のもつ新記録を10分の2秒破る1分7秒1の好記録を出した。

オリンピック詳報續

ハウクロフト

水 球

十八ヶ國参加のトーナメントでイタリアがどのチームにもおさへられず優勝したのは前年リヴィエラの歐洲選手權で同國チームの勝つたのをみたものに別には別には不思議でなかつた。

しかしイタリアは各回戦とも文字通り苦戦した、またハンガリー、オランダ、ベルギー、スウェーデン、フランスの間にはわずかの差しかなく競技をそ

れだけ面白くした。

エジプトとスペインが七、八位となつて最後のランキングにはいつた。

一九二〇年のアントワープの大会以來アメリカは水球チームを送つてきたが勝とうというより楽しみ
の参加であつた、しかしロンドンではアメリカチ
ームは決して下位の方ではなかつた、主に一クラブ
(ロサンゼルス A.C) のメンバーが代表チームをつ
くつていたが、これでもアメリカのクラブの水
準は世界のどこくらべても高いことが明らかであ
つた。

イギリスの弱さ——第一回戦に残つたが——は二
年間の公式訓練の時間と金のかけ方の少なかつたこ
とからきている。

競技様式はオリンピックのスポーツマンシップを
否定したものである。私がこういうのも一般の意見
をたゞつゝましくくりかえしているにすぎない、ト
ーナメントを通じルールに従うよりも破つた方が尊
敬された、レエフリーは最強の意志をもつても反則
妨竈さわぎをとめることが出来なかつた、ゲームは
餘りにもしばしばきたないものとなり防禦のバツク
スは攻撃側のフォワーズを腕と脚でつゝんでいた、
それも接戦の興奮からくる偶然のファウルでなく前
もつてはかつたファウルであつた。

次の一つの事はたしかだ、もし審判の標準が特別
改善されないかぎり水球は將來のオリンピック種目
から除外されるだろう。

飛 込

男女四種目ともアメリカの演技の程度が餘りにも
高く観衆はあつけにとられた、ロスアンゼルスとベ
ルリンのときよりアメリカ選手の技術は一層みがき
がかゝりその他の國々は文字通り手が出なかつた、
飛込にとって室内エンパイヤ・プールの條件は理想
的でオリンピックでははじめて選手は外部の條件に
わずらはされずにすんだ、強風や雨で體のコントロ
ールを失うおそれがなかつたからだ。

アメリカは高い技術をもつていて、すきがあつて
いつも四種目とも三位まで全部とるのを今度は二つ
の三位をゆずらねばならなかつた。

その一つはアメリカのアンダーソンが高飛込の出
場を取消したのでどうにもならず、メキシコのキャ
ピラが三位となり女子高飛込で三位のデンマークの
クリストファーセンは一位 ヴイツキー・ドレーヴス

とわずかに二點八三の差であつた。アメリカ女子選
手ドレートヴス、オルセン、エルスナーは太平洋岸
のトリオでそろつて磨きのかゝつた腕をみせ、男子
のリー、ハーラン、アンダーソンも印象的でその飛
び出しはどの飛込もやわらかに高度をとり水中に美
しい入水を確保していた。

もう一つの評判をよんだ特徴は、故意か偶然かし
らないがアメリカの選手はすべて共通の一つ形をも
つていた、男子は標準の身長よりわずかひくく體は
整い、女子は綺麗でスナリした恰好の體つきでた
だエルスナーのみ例外であつた。

すべての飛込の得點をしらべてみるとアメリカと
歐洲の水準は前回のオリンピック程開いていないこ
とがわかる。

ヨーロッパの選手権保持者デンマークのクリズチ
ヤンセンはウエンブレでは六位であつた、彼は選
手権をとつた時よりよい出来だつたがスウェーデン
のブルンナーゲとイギリスのヒートリーの下位とな
つた。

ヒートリーが三十人の中で五位となつたことはイ
ギリスにとつて近來ないことだ、彼が練習時の出来
を試合にも出せるよになつたので將來の國際競技
に活躍が期待出来る。

イギリスの女子選手も豫期以上の成績で第一人者
チャイルドは三米飛板で六位となつた。

オリンピック成績

飛 込

男子の部

◇飛板飛込決勝

- ①ブルース・ハーラン(米) 163.64
- ②K・Aアンダーソン(米) 157.29
- ③サミー・リー(米) 145.52
- ④キャピラ(メキシコ) 141.79,
- ⑤ムーリングハウゼン(佛) 126.55
- ⑥ヨハンソン(瑞) 120.26
- ⑦ハツサン(エジプト) 119.90
- ⑧クリスチヤンセン(丁) 114.59
- ⑩アサンス(カナダ) 114.13
- ⑩ゴスリング(ベルムダ) 113.98

◇高飛込決勝

- ①サミー・リー(米) 130.05
- ②ブルース・ハーラン(米) 122.30
- ③キャピラ(メキシコ) 113.52
- ④ブルンハーヘ(瑞) 108.62
- ⑤ヒートリー(英) 105.29,
- ⑥クリスチヤンセン(丁) 105.22
- ⑦ム

ーリングハウゼン(佛) 103.01 ⑧アサンス(カナダ) 100.91 ⑨スチゲルサンド(ノールウェー) 97.73 ⑩シユルバギ(シリヤ) 97.81

女子の部

◇飛板飛込決勝

①ヴァイツキー・M・ドレーヴス(米) 108.74 ②オルセン(米) 108.23 ③エルスナー(米) 101.30 ④ペリサール(佛) 100.38 ⑤グローマー(濠) 93.30 ⑥チャイルド(英) 91.63 ⑦モロー(佛) 89.43 ⑧ヘツク(和) 87.61 ⑨クリストファーセン(丁) 87.12 ⑩オベール(佛) 86.96

◇高飛込決勝

①ヴァイツキー・ドレーヴス(米) 68.87 ②エルスナー(米) 66.28 ③クリストファーセン(丁) 66.04 ④スタウデインガー(オーストリア) 64.59 ⑤ストーヴァー(米) 62.63 ⑥ペリサール(佛) 61.07 ⑦ペテルセン(瑞) 59.89 ⑧グレゲルセン(丁) 59.54 ⑨サゴツト(洪) 56.62 ⑩ビスブラウン(英) 53.95

水 球

◇一回戦

A 組

米 7 — 0 ウルガイ
ベルギー 10 — 1 ウルガイ
ベルギー 4 — 4 米

B 組

スウェーデン 4 — 1 スペイン
スペイン 5 — 1 スイス
スウェーデン 6 — 1 スイス

C 組

インド 7 — 4 チリー
オランダ 12 — 1 インド
オランダ 14 — 0 チリー

D 組

イタリア 9 — 0 オーストリア
ユーゴ 12 — 3 オーストリア
イタリア 4 — 4 ユーゴ

E 組

イギリス 3 — 3 エジプト
ハンガリー 11 — 2 イギリス
ハンガリー 5 — 2 エジプト

F 組

フランス 4 — 1 アルゼンチン
アルゼンチン 6 — 2 ギリシャ
フランス 7 — 1 ギリシャ

◇二回戦

G 組

ベルギー 1 — 1 スウェーデン
スウェーデン 7 — 0 米

H 組

オランダ 5 — 2 スペイン
スペイン 11 — 1 インド

I 組

イタリア 4 — 3 ハンガリー
ハンガリー 3 — 1 ユーゴ

J 組

エジプト 3 — 3 フランス
エジプト 4 — 4 アルゼンチン

◇準決勝

K 組

ベルギー 3 — 3 オランダ
ベルギー 4 — 1 スペイン
オランダ 5 — 3 スウェーデン
オランダ 5 — 2 スペイン

L 組

ハンガリー 5 — 4 フランス
イタリア 5 — 1 エジプト
イタリア 5 — 2 フランス
イタリア 4 — 2 ハンガリー

◇決勝

オランダ 4 — 4 ハンガリー
イタリア 4 — 2 ベルギー
イタリア 4 — 2 オランダ
ハンガリー 3 — 0 ベルギー

◇5—8 位決定戦

スウェーデン 1 — 1 フランス
エジプト 3 — 1 スペイン
スウェーデン 3 — 2 エジプト
フランス 2 — 1 スペイン

◇順位

①イタリア ②ハンガリー ③オランダ ④ベルギー ⑤スウェーデン ⑥フランス ⑦エジプト ⑧スペイン

日本選手権大會各地豫選會

東京都選手権兼日本選手権東京豫選大會

7月10日 中大プール (50米) 未公認

男子之部

100米 自由形			
1	浪速 欣吾	(早大)	1:03.8
2	秋永 修	(横濱ゴム)	1:06.0
3	藤木 昇	(早大)	1:06.2
200米 自由形			
1	浪速 欣吾	(早大)	2:25.2
2	安藤 實	(早大)	2:27.2
3	岡本 光彦	(日三高)	2:38.2
400米 自由形			
1	安藤 實	(早大)	5:11.0
2	松岡 信義	(慶大)	5:13.0
3	小野 貞雄	(早大)	5:17.8
1500米 自由形			
1	松岡 信義	(慶大)	21:01.4
2	小野 貞雄	(早大)	22:05.6
50米 背泳			
1	藤井 敬次郎	(横濱ゴム)	32.6
2	正村 孝司	(早大)	35.0
3	森 安正	(一水會)	37.2
100米 背泳			
1	藤井 敬次郎	(横濱ゴム)	1:12.5
2	正村 孝司	(早大)	1:17.4
3	益田 宗	(都一高)	1:23.3
100米 平泳			
1	飯田 俊太郎	(早大)	1:20.6
2	鈴木 源一	(横濱ゴム)	1:24.0
3	折井 孝一郎	(慶大)	1:25.0
200米 平泳			
1	折井 孝一郎	(慶大)	3:01.0
2	澤 卓二	(都二高)	3:04.2
3	峯生 梅太郎	(都二高)	3:04.8

女子之部

50米 自由形			
1	新井 恵子	(川西機械)	36.8
2	高橋 美恵子	(四女高)	37.0
3	太田 教子	(四女高)	37.6
100米 自由形			
1	新井 恵子	(川西機械)	1:22.2
2	太田 教子	(四女高)	1:23.6
3	高橋 美恵子	(四女高)	1:25.2
200米 自由形			
1	塚本 千賀子	(四女高)	2:55.2
2	田邊 和子	(四女高)	3:01.0
3	草野 美代	(鷺宮高)	3:36.6
400米 自由形			
1	塚本 千賀子	(四女高)	6:14.2
2	田邊 和子	(四女高)	6:26.2
50米 背泳			
1	小椋 とみ子	(成徳高)	40.0
2	小椋 とし子	(成徳高)	42.6
3	保見 紀子	(武蔵高)	44.8
100米 背泳			
1	小椋 とみ子	(成徳高)	1:28.4
2	小椋 とし子	(成徳高)	1:38.0
3	保見 紀子	(武蔵高)	1:40.4
100米 平泳			
1	大野 敦子	(四女高)	1:40.8
2	立花 文子	(成城高)	1:44.6
3	小倉 正江	(成徳中)	1:46.6
200米 平泳			
1	大野 敦子	(四女高)	3:26.8
2	立花 文子	(成城高)	3:44.2
3	小倉 正江	(成徳中)	3:48.0

全日本選手権水上競技大會茨城縣豫選

7月10日 西茨城郡宍戸町友部プール

男子之部

100米 自由形			
1	中崎 常夫	(水戸水協)	1:06.7
2	藤 井	(土浦)	1:07.6
200米 自由形			
1	松 原	(縣廳)	2:44.5
2	人見 毅	(湊一高)	2:49.4
3	友部 勝巳	(日立一高)	2:52.8

400米	自由形	3	大槻健一	(日一高)	1:30.0		
1	丸田敏夫	(日一高)	6:06.4	200米	平泳		
2	小笠原	(水一高)	6:07.2	1	金木實	(茨高)	3:13.1
3	打越穰	(湊一高)	6:07.8	2	江口行雄	(湊一高)	3:13.4
1500米	自由形	3	木村輝夫	(日一高)	3:29.5		
1	小笠原	(水一高)	24:15.7	女子之部			
2	打越穰	(湊一高)	25:45.8	50米	自由形		
3	黒澤	(瀧一高)	26:15.4	1	加藤登志子	(水二高)	38.0
50米	背泳			2	飛田則子	(水二高)	38.0
1	木村勇	(日一高)	37.4	100米	自由形		
2	村井陽二	(日一高)	38.4	1	飛田則子	(水二高)	1:28.3
3	長沼克夫	(日一高)	39.2	2	加藤登志子	(水二高)	1:29.2
100米	背泳			3	比和和子	(水三高)	1:40.8
1	三浦正也	(湊一高)	1:26.7	100米	平泳		
2	村井陽二	(日一高)	1:29.0	1	根本敏子	(水三高)	1:54.0
3	竹田	(水一高)	1:29.0	2	東海作映子	(本山中)	1:59.0
100米	平泳			3	伊集院	(下妻)	2:15.0
1	中山利生	(龍ヶ崎)	1:25.3				
2	萩原國造	(日一高)	1:29.4				

日本選手権水上競技大會長野地方豫選會

7月10日 長野市営プール(50米)未公認 (氣温 27°C) (水温 23°C)

50米	自由形			50米	背泳		
1	北澤勉	(須坂)	30.2	1	宮崎博道	(野尻)	37.6
2	須藤太郎	(上田)	31.6	2	町田昭	(須坂)	37.8
3	瀧川	(上田)	33.0	3	山岸光宣	(長野)	40.4
100米	自由形			100米	背米		
1	池田幹夫	(野尻)	1:09.2	1	宮崎博道	(野尻)	1:28.0
2	中村寛次	(長商)	1:13.0	2	町田昭	(須坂)	1:28.6
3	池田建夫	(野尻)	1:13.0	100米	平泳		
200米	自由形			1	坪井清	(野尻)	1:28.2
1	藤家衛	(上田)	2:33.0	2	綿貫智	(長農)	1:31.0
2	山岸清	(須坂)	2:44.0	3	西澤昇	(野尻)	1:34.4
400米	自由形			200米	平泳		
1	藤家衛	(上田)	5:30.6	1	綿貫智	(長農)	3:17.2
2	山岸清	(須坂)	5:53.6	2	西澤昇	(野尻)	3:18.8
3	五明幸雄	(野尻)	6:07.4	3	川添喜一郎	(長野)	3:19.4

新潟縣選手権水上競技大會

兼全日本選手権水上競技大會新潟豫選

7月10日 柏崎體育團プール(50米)未公認

男子之部				1	中村均	(新高)	1:10.3
100米	自由形			2	伊藤武巳	(柏高)	1:12.0
				3	霜田誠	(柏工)	1:13.5

200米	自由形				2	横 關 和 夫	(柏 高)	1:26.0
1	角 田 増 藏	(長 高)	2:36.9	3	前 川 武 夫	(柏 商)	1:27.1	
2	伊 藤 武 巳	(柏 高)	2:47.5	100米	平 泳			
3	村 山 金 藏	(柏 高)	2:48.5	1	諸 橋 勳	(長 工)	1:23.2	
400米	自由形			2	石 坂 誠 司	(長 高)	1:26.5	
1	角 田 増 藏	(長 高)	5:41.5	3	大 橋 清 馬	(柏 高)	1:31.3	
2	木 村 洋 二 夫	(柏 高)	5:57.0	200米	平 泳			
3	吉 田 哲 夫	(柏 工)	6:11.1	1	諸 橋 勳	(長 工)	3:07.6	
1500米	自由形			2	石 坂 誠 司	(長 高)	2:13.0	
1	木 村 洋 二 夫	(柏 高)	24:13.0	3	大 橋 清 馬	(柏 高)	3:19.3	
2	吉 田 哲 夫	(柏 工)	24:24.0					
3	熊 木 桂 一	(柏 高)	24:34.2					
50米	背 泳							
1	大 谷 内 彰	(長 高)	35.9	50米	自由形			
2	有 坂 敏 夫	(理 研)	38.2	1	柴 木 容 子	(長 女)	42.6	
3	品 川 忠 一	(柏 商)	39.9	2	兒 玉 文 子	(長 女)	53.2	
100米	背 泳			100米	平 泳			
1	大 谷 内 彰	(長 高)	1:21.9	1	柴 木 容 子	(長 女)	2:06.0	
				2	兒 玉 文 子	(長 女)	2:31.0	

女子之部

静岡縣東部水泳競技大會兼日本選手権豫選會

7月10日 熱海市營プール(50米)公認 (氣温 22°5) (水温 20°C)

高校男子之部

100米	自由形			100米	平泳 (バタフライ)		
1	井 原 孜	(伊 東 高)	1:03.4	1	縣 甫	(沼 津 東)	1:27.0
2	吉 岡 清 吉	(下 田 北)	1:04.2	2	齋 藤 守	(沼 工 高)	1:31.4
3	杉 本 行 弘	(沼 商 高)	1:08.2	3	齋 藤 藤	(富 士 高)	1:37.2
200米	自由形			200米	平 泳		
1	井 原 孜	(伊 東 高)	2:27.2	1	齋 藤 利 一	(沼 津 東)	3:05.6
2	吉 岡 清 吉	(下 田 北)	2:34.6	2	上 坊 孝 守	()	3:11.8
3	杉 本 行 弘	(沼 商 高)	2:35.4	3	齋 藤 守	(沼 工 高)	3:13.3
400米	自由形			400米	平 泳		
1	川 口 友 平	(伊 東 高)	5:09.8	1	齋 藤 守	(沼 工 高)	6:40.2
2	金 澤 壯 夫	()	5:27.0	2	上 坊 孝 美	(沼 津 東)	6:15.2
3	遠 藤 登	(沼 津 東)	5:28.2	3	志 村 政 美	(沼 商 高)	6:54.6
800米	自由形			200米	リレー		
1	川 口 友 平	(伊 東 高)	10:46.2	1		(伊 東 高)	2:01.4
2	金 澤 壯 夫	(伊 東 高)	11:41.0	2		(下 田 北)	2:03.0
3	遠 藤 登	(沼 津 東)	11:51.2	3		(沼 商 高)	2:04.0
50米	背 泳			800米	リレー		
1	鈴 木 進	(沼 津 東)	36.0	1	井 原、川 口	(伊 津 東)	10:17.2
2	芹 澤 一 雄	(沼 商 高)	37.4	2	金 澤、木 足	(沼 東 高)	10:34.2
3	邦 澤 廣 巳	(沼 津 東)	38.2	3	小 齋、柴 藤、	(沼 商 高)	10:50.4
100米	背 泳				森 本、野、		
1	鈴 木 進	(沼 津 東)	1:19.8	300米	メドレーリレー		
2	芹 澤 一 雄	(沼 商 高)	1:23.4	1		(沼 津 東)	3:51.2
3	山 本 勇	(伊 東 高)	1:24.0	2		(伊 東 高)	3:55.6
				3		(沼 商 高)	4:03.0

女子高校之部

50米	自由形			
1	鈴木慶子	(伊東高)	41.2	
2	多田悦子	(熱海高)	44.6	
3	平野節子	()	47.2	
100米	自由形			
1	鈴木慶子	(伊東高)	1:36.8	
2	多田悦子	(熱海高)	1:51.6	
200米	自由形			
1	森あき子	(伊東高)	2:52.8	
2	安部左和子	()	3:00.6	
3	平野節子	(熱海高)	4:10.0	
400米	自由形			
1	森あき子	(伊東高)	6:00.4	
2	安部左和子	()	6:11.0	
50米	背泳			
1	石井喜美子	(伊東高)	46.2	
2	太田攝子	()	47.4	
3	眞野和子	(熱海高)	56.8	
100米	背泳			
1	太田攝子	(伊東高)	1:38.0	
2	石井喜美子	()	1:44.2	
3	遠藤慶子	(熱海高)	2:06.2	
100米	平泳			
1	木梨あさ	(伊東高)	1:40.4	
2	井原佳子	()	1:43.2	
3	吉川久代	(熱海高)	2:01.4	
200米	平泳			
1	木梨あさ	(伊東高)	3:31.4	
2	井原佳子	()	3:33.8	
3	吉川久代	(熱海高)	4:51.0	
200米	リレー			
1	森、安部、鈴木、井原	(伊東高)	2:36.6	
2	平野、多田、小松、川口	(熱海高)	3:27.4	
300米	メドレーリレー			
1	森、木梨、石井	(伊東高)	4:41.2	
2	遠藤、眞野、平野	(熱海高)	6:02.6	

一般男子之部

100米	自由形		
1	久保田敬二	(西浦青)	1:10.0
2	寺田	(伊東)	1:11.2

3	新井 潔	(西浦青)	1:12.4
200米	自由形		
1	森田 衛	(熱海)	2:46.8
2	久保田敬二	(西浦青)	2:46.8
3	川崎安太郎	(日産重工)	2:58.0
400米	自由形		
1	中田利郎	(熱海青)	6:04.2
2	土屋	(伊東)	6:07.0
3	原田和治	(西浦青)	6:37.2
800米	自由形		
1	中田利郎	(熱海)	13:09.6
2	土屋	(伊東)	13:13.2
3	日吉	(西浦青)	14:22.8
50米	背泳		
1	木部俊之	(宇佐美)	33.2
2	柴田佳人	(日産重工)	35.8
3	大木利一	(西浦青)	37.0
100米	背泳		
1	木部俊之	(宇佐美)	1:14.6
2	北山昭二	()	1:21.2
3	大木利一	(西浦青)	1:24.0
100米	平泳		
1	森 巖	(宇佐美)	1:22.0
2	杉山武次	(伊東水)	1:28.4
3	三間昇	()	1:32.8
200米	平泳		
1	杉山武次	(伊東水)	3:08.2
2	笹島武司	(靜浦青)	3:19.6
3	三間昇	(伊東水)	3:26.2

一般女子

50米	自由形		
1	青木照子	(伊東水)	36.4
2	山下絢子	(多賀)	36.8
100米	自由形		
1	山下絢子	(多賀)	1:20.2
2	青木照子	(伊東水)	1:25.2
50米	背泳		
1	鈴木都	(伊東)	47.6
2	宿谷成子	(沼津)	51.2
3	山口すゑ江	()	53.4
100米	平泳		
1	鳥居きよ子	(伊東)	1:45.0

第 2 回東京、横濱、八王子、伊東 四都市女子水上競技會

6 月 26 日 中大プール (50 米) 未公認 (氣温 26°) (水温 21°)

<p>50 米 自由形</p> <p>1 高橋美恵子 (八王子) 36.2</p> <p>2 新井恵子 (八王子) 36.2</p> <p>3 青木照子 (伊東) 36.2</p> <p>100 米 自由形</p> <p>1 太田教子 (八王子) 1:22.0</p> <p>2 高橋美恵子 (八王子) 1:22.8</p> <p>3 青木照子 (伊東) 1:23.8</p> <p>200 米 自由形</p> <p>1 森あき子 (伊東) 2:54.8</p> <p>2 安部佐和子 (伊東) 2:57.6</p> <p>3 塚本千賀子 (八王子) 3:00.2</p> <p>400 米 自由形</p> <p>1 安部佐和子 (伊東) 6:07.2</p> <p>2 森あき子 (伊東) 6:12.0</p> <p>3 塚本千賀子 (八王子) 6:24.8</p> <p>50 米 背泳</p> <p>1 三浦秀 (八王子) 40.8</p> <p>2 小椋とみ子 (東京) 41.8</p> <p>3 朝井美枝子 (八王子) 43.2</p> <p>100 米 背泳</p> <p>1 三浦秀 (八王子) 1:32.2</p> <p>2 小椋とみ子 (東京) 1:35.2</p>	<p>3 太田攝子 (伊東) 1:41.8</p> <p>100 米 平泳</p> <p>1 大野敦子 (八王子) 1:37.0</p> <p>2 木梨あさ (伊東) 1:42.2</p> <p>3 井原佳子 (伊東) 1:43.6</p> <p>200 米 平泳</p> <p>1 大野敦子 (八王子) 3:24.8</p> <p>2 木梨あさ (伊東) 3:35.0</p> <p>3 井原佳子 (伊東) 3:42.0</p> <p>200 米 リレー</p> <p>1 塚本、高橋、新井、安部、森、野 (八王子) 2:26.0</p> <p>2 青木、木、井、森、蜂、細、野 (伊東) 2:30.0</p> <p>3 小椋、とみ子、草野 (東京) 2:38.6</p> <p>300 米 メドレーリレー</p> <p>1 三浦、大野、太田、木梨、青木、木二、小椋、蜂、屋 (八王子) 4:28.6</p> <p>2 三浦、大野、太田、木梨、青木、木二、小椋、蜂、屋 (伊東) 4:45.2</p> <p>3 三浦、大野、太田、木梨、青木、木二、小椋、蜂、屋 (東京) 4:50.2</p> <p>得 點</p> <p style="text-align: center;">八王子 84 伊東 71 東京 40 横濱 19</p>
---	---

第 6 回日大對全東海水上競技大會

6 月 26 日 振甫プール (50 米) 公認 (氣温) (水温)

<p>100 米 自由形</p> <p>1 濱口喜博 (日大) 59.3</p> <p>2 木本彰 (日大) 1:03.6</p> <p>3 小杉徳雄 (日大) 1:05.8</p> <p>200 米 自由形</p> <p>1 濱口喜博 (日大) 2:11.6</p> <p>2 小杉徳雄 (日大) 2:24.0</p> <p>3 木本彰 (日大) 2:26.0</p> <p>400 米 自由形</p> <p>1 橋爪四郎 (日大) 4:50.0</p> <p>2 中山順一 (日大) 5:04.8</p> <p>3 茶畑大 (日大) 5:07.4</p> <p>800 米 自由形</p> <p>1 古橋廣之進 (日大) 9:45.6(世界新)</p>	<p>2 茶畑大 (日大) 10:46.6</p> <p>3 徳重里司 (日大) 10:55.0</p> <p>50 米 背泳</p> <p>1 榎谷周二 (日大) 34.4</p> <p>2 出口靖 (日大) 34.6</p> <p>3 服部義治 (東海) 34.8</p> <p>100 米 背泳</p> <p>1 榎谷周二 (日大) 1:15.0</p> <p>2 出口靖 (日大) 1:18.6</p> <p>3 伊岐見勝 (東海) 1:18.8</p> <p>100 米 平泳</p> <p>1 安東昭次郎 (日大) 1:17.8</p> <p>2 宇田久壽秀 (日大) 1:18.2</p> <p>3 五味茂雄 (日大) 1:21.2</p>
--	--

200 米	平 泳			
1	宇田久壽秀	(日 大)	2:52.2	
2	安東昭次郎	(日 大)	2:57.4	
3	五味茂雄	(日 大)	2:58.4	
200 米	リレー			
1	濱小口古橋	(日 大)	1:50.8	
2	杉島水高野井	(東 海)	1:55.8	

300 メドレーリレー

1	榎谷宇田	(日 大)	3:33.4
2	穂木大高	(東 海)	3:49.2

得 點

日 大	121
東 海	55

あ と が き

戦後最初の国際競技は水泳界が先頭を切り、八月中旬ロサンゼルス全米男子水泳選手権大会に参加した我らの代表選手は空前の大成功をおさめた。この詳報は監督以下代表選手らの生の報告を中心に次號を飾ります。次號は國體水上の成績までをおさめて十月下旬発行の豫定です。年四回の発行は競技會等の成績が中心になるが餘裕をみて有益な讀物もめがけるつもりで、競技技術その他の質疑もよせて下さい。紙上で一流の權威から答えてもらいます。(T)

本誌御購讀御希望の方は一ケ年分前金貳百圓(概算)を日本水泳連盟宛御送金の上御申込下さい。

昭和二十四年九月十日印刷	定價五〇圓
昭和二十四年九月十五日發行	
編集者	日本水泳連盟
伊藤 謹平	藤田 明夫
發行所	白橋 龍夫
印刷者	泰文館
發行所	株式會社 泰文館
發賣所	日本水泳連盟
	電話神田(25)三一〇六番

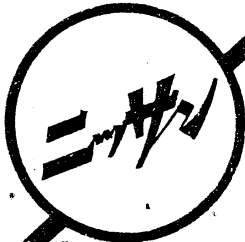


アサヒ スポーツ

週刊 毎週木曜發賣!
タフロイド型8ページ 定價12圓



朝日新聞社發行



石鹼 マーガリン

硬化油・脂肪酸・グリセリン
塗料・火薬・電氣熔接棒

日本油脂

東京・日本橋

大阪・堂ビル

すべてGによる

ペニシリン-明治



油性は一日一度の注射ですみ
その効能は従來のものより
水持ちがしますし使い
方は簡單で、ありあわせ
の注射筒で間に合います

- ☆ 結晶 G 100,000 及 200,000 國際單位
夏期常溫保存 冷蔵不要
- ☆ 油性結晶プロカインペニシリン G
1cc 注射筒入 5cc 瓶入 (1cc30萬單位含有)
常溫流動性、使用時加熱不要、注射量隨意、冷蔵不可
- ☆ 結晶ペニシリン軟膏
やけど、きりきず、できもの、ものもらい、はれもの
その他のぬり薬 5瓦チューブ入

明治製菓株式會社